

2015 浦安景観まちづくり啓発事業報告書



2015 年度浦安市協働事業

うらやす景観まちづくりフォーラム

2016 年 3 月

目 次

浦安景観まちづくり啓発事業計画	・ ・ ・ ・ ・ 1
浦安景観まちづくり実践講座の概要	・ ・ ・ ・ ・ 2
第 1 回浦安景観まちづくり実践講座	・ ・ ・ ・ ・ 3
第 2 回浦安景観まちづくり実践講座	・ ・ ・ ・ ・ 6
第 3 回浦安景観まちづくり実践講座	・ ・ ・ ・ ・ 9
第 4 回浦安景観まちづくり実践講座	・ ・ ・ ・ 12
第 5 回浦安景観まちづくり実践講座	・ ・ ・ ・ 16
第 6 回浦安景観まちづくり実践講座	・ ・ ・ ・ 20
第 7 回浦安景観まちづくり実践講座	・ ・ ・ ・ 22
大学生向浦安景観まちづくり実践講座	・ ・ ・ 35
まち広場通信	・ ・ ・ ・ ・ 37
うら景まち広場	・ ・ ・ ・ ・ 37
講座参加者アンケート	・ ・ ・ ・ ・ 38
平成 27 年度事業報告	・ ・ ・ ・ ・ 48

■事業の目的

協働の景観まちづくりが景観ブランドを再生

- ・景観計画・景観条例の周知が、景観まちづくりを推進
- ・ターゲットを絞った講座とし、街育てへの参画を促す
- ・市民の視点から街づくりへの提案するきっかけづくり
- ・景観への関心の高まりが街を育て、景観ブランドを再生
- ・まち歩きなどにより、景観資源リストの更新を図る

■景観まちづくりの課題

景観計画の周知が足りなく、協働のまちづくりが進んでいない

- ・地区住民の取組みや仕掛けが求められている
- ・景観維持のルールづくりや支援が求められている
- ・地域開発は、まちなみ形成への配慮が強く求められる
- ・震災前のみどり豊かな美しい景観にもどれるか懸念
- ・景観計画・条例施行の市民・事業者への周知不足

■協働の必要性

市民・事業者・市が協働で景観まちづくりを推進

- ・市民・事業者に景観の大切さを伝える必要性が高まる
- ・H20-22 景観基礎講座、実践講座を実施するも震災でストップ
- ・市は景観条例協議に追われ、協働の取組みはストップ
- ・市民の視点での景観講座・景観広報活動が必要になる
- ・協働で景観まちづくりが推進できる取組み・組織が必要

■事業内容

- ・景観まちづくり講座とまち歩き
- ・情報発信のホームページ制作と更新
- ・うらやす景観通信により市民・行政との情報共有を深める
- ・景観資源リストの追記・整理

■協働の効果

- ・浦安の愛着が深まり、街育てへ参画する市民・事業者が増加
- ・市民の視点からの街づくりへの提案が増える
- ・景観へ関心が高まり、まち育てが進められる
- ・景観ブランドの再生により、街の資産の再生が進む

■景観まちづくり実践講座の概要

広く市民・事業者向けに、浦安の景観を知る広報活動（景観通信やHP）、景観実践講座としてより良い景観資源探しと、改善したい景観探しを開催し、景観資源を活かした景観まちづくりを促進させる。また、活動団体や地域組織とのネットワークも促進させる。

●景観まちづくり実践講座実施状況

月	項目	内 容	参加 人数
4月12日	企画・広報	講座の企画調整と広報活動	
5月17日	キックオフミーティング	実践講座、景観資源調査内容について	23名
7月19日	道路・みどり（軸）調査	シンボルロード・やなぎ通り沿いのまち歩きと調査整理など	24名
9月13日	水辺（軸）調査	境川沿い中央歩道橋下流域のまち歩きと調査整理など	25名
9月27日	大学生まち歩き	新町日の出・入船・美浜まち歩き	4名
11月15日	元町（面）調査	まち歩き、調査整理）	21名
1月17日	中町・新町（面）調査	選定した地区（面）の景観資源探し（まち歩き、調査整理）	18名
2月21日	まとめ	景観資源調査のまとめ	22名
3月13日	講演&発表会	講演、景観資源調査の発表 ディスカッション	38名

2015年度浦安市協働事業

浦安景観まちづくり実践講座

**浦安のより良い景観資源、
改善したい景観を、一緒に探しませんか！**

浦安市景観計画・景観条例が策定されていますがご存知ですか。震災により浦安の景観は壊れ、元のみどり豊かな美しい景観が再生されるのか懸念されます。浦安の景観ブランドを再生するために、景観資源を活かした景観まちづくりを一緒に考えてみませんか。
今年度は、昨年の景観講座の知識を用いて、景観資源を探します。



プログラム

5/17(日)	キックオフミーティング	実践講座、景観資源調査内容について
7/19(日)	道路・みどり（軸）調査	選定した軸沿いの景観資源探し（まち歩き、調査整理）
9/13(日)	水辺（軸）調査	選定した軸沿いの景観資源探し（まち歩き、調査整理）
11/15(日)	元町（面）調査	選定した地区（面）の景観資源探し（まち歩き、調査整理）
1/17(日)	中町・新町（面）調査	選定した地区（面）の景観資源探し（まち歩き、調査整理）
2/21(日)	まとめ	景観資源調査のまとめ
3/13(日)	発表会	景観資源調査の発表

場所：市民プラザWAVE101等 費用：無料

時間：午前：まち歩き、午後：調査整理

募集人数：30名程度、1回の参加も可能

※内容が一部変更になる場合があります。

※荒天の場合、延期する場合があります。

受付・問合せ

うらやす景観まちづくりフォーラム

【Eメール】asakawa@comdesign.jp

【FAX】047-712-6862

【電話】047-712-6861（担当浅川）

第1回 キックオフミーティング

実践講座の初回は、昨年の景観講座を振り返り、今年度の企画趣旨、ならびに実践講座①より良い景観資源探し②改善したい景観探しの内容を説明するとともに、皆さまからご意見をいただきます。

【月日】5月17日(日)10時～12時半

【場所】市民プラザWAVE101 サロン5

【対象】市内在住・在勤・在学・事業者の方、先着30名【費用】無料

【申込】氏名・年齢・性別・住所・電話番号をご記入のうえ、

ファックスまたはEメールでうらやす景観まちづくりフォーラム（浅川）へ

キックオフミーティング（第 1 回）開催報告

浦安市都市計画課・うらやす景観まちづくりフォーラムの協働提案事業として、2015 年度「浦安景観まちづくり講座」のキックオフミーティング（第 1 回）が、5 月 17 日（日）WAVE101 で開催されました。以下、当日の様子をご紹介します。

■開会挨拶（都市計画課・市川課長）

最初に、都市計画課・市川課長より開会の挨拶がありました。



都市計画課・市川課長

浦安市では早くから新浦安駅周辺を中心に景観まちづくりに取り組んでいる。2004 年の景観法施行をきっかけにやる気のある市町村は「景観行政団体」になり、「景観計画」をつくり実践的にやれるようになった。市でも 2009 年に景観計画を策定し、市民、事業者、行政が三位一体になって景観まちづくりを進めている。昨年より、うらやす景観まちづくりフォーラム（以下フォーラム）と一緒に連続講座を実施している。景観とはなにか、景観まちづくりとはなにかを学んでいただきたい。

■挨拶（フォーラム会長・小林）

フォーラム会長・小林から挨拶がありました。



フォーラム会長・小林

フォーラムは、2009、2010 年度、市の主催の景観資源探しへの参加者が中心である。震災後、景観まちづくりの流れを消してしまうのは問題という認識でフォーラムを始めた。

私たちも「景観」や「景観まちづくり」が十分にわかっているわけではないが、分からないなりの立場でやっている。昨年に引き続き、今年はさらに発展させていきたい。

■市景観行政について（都市計画課・坂野さん）

続いて、都市計画課・坂野さんより市の景観行政について、紹介がありました。



都市計画課・坂野さん

浦安市の景観計画は市全域を景観計画区域として定め、拠点、ゾーン、景観重点区域の 3 つに区分している。さらに各区域の特徴にあわせた形や色といった景観形成基準を設けて、よりよい景観への誘導を行っている。景観計画のなかで、協働による景観まちづくりについては、「共に創り、共に育てる」ことを目標に掲げ、市民、事業者、市が協働して創り上げることとしている。具体的には資源リストづくりや表彰制度などが取り組みの指針となっている。

昨年度まで一定の成果を上げており、今年度はステップをあげた取り組みとなっている。市民のみなさんの参加を得て取り組みたい。

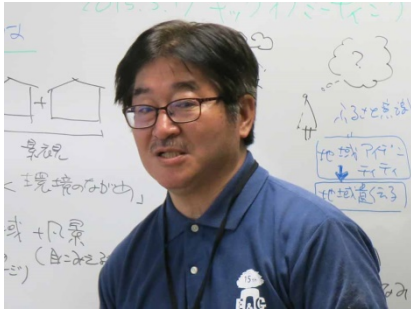
■景観まちづくりについて（フォーラム会長・小林）

続いて、小林（前掲）から、景観まちづくりの考えについて、紹介がありました。

「景観」とはいくつかの定義があるが、「人間をとりまく環境の眺め」や、「景観＝地域＋風景」とあるように、目に映る像だけでなく人々の営みがある環境や地域のイメージを含むものである。こうした景観に働きかける「景観まちづくり」とは多様なまちづくりの成果を景観として現し、地域力を高めていくことだといえる。

■これまでの取り組みと今年度の講座趣旨（フォーラム・浅川）

休憩をはさんで、フォーラムの浅川から、これまでの取り組みと今年度の講座趣旨について説明がありました。



フォーラム・浅川

2014 年度の浦安景観まちづくり啓発事業は、6 回の景観まちづくり連続講座、2 回の子ども向け講座を実施しただけでなく、「うら景まち広場 (<http://urayasu-kmf.org>)」というホームページでの情報発信や、都市計画課発行の「うらやす景観通信」という市民向けニュースを協働で編集した。連続講座のアンケートでは、第 2 回「水辺の景観を考える」の満足度が高かったが、他の回も概ね満足いただけたといえる。

2015 年度はまちあるきを通じて「よりよい景観資源」「改善したい景観資源」探しを行いたい。今日を含めて 7 回の講座を予定している。

参加者からは、以下の質問がありました。

質問) 小林会長の景観まちづくりの話と今回の連続講座の関係はどうなっているのか？

回答) 景観まちづくりの視点をもって、取り組んでいただくという関係だと考えている。

質問) 阻害要因については景観だけでなく、人や仕組みに関するものもあるのでは？

回答) 確かにその課題はあるが、今回の調査を多様な人と組織をつなぐきっかけにしたい。

質問) この講座の行政での位置づけが曖昧に感じる。具体のフィードバックをお願いしたい。

回答) 景観資源リストは市の HP でも公表している。改善点をすぐ対応するのは難しいが、この講座を通じた意見交換、景観計画の見直しなどの機会を通じて検討したい。

■参加者の紹介

休憩のあと、他己紹介（隣の人のお話を聞き、全員に向けて隣の人（他己）を紹介する）を行いました。その結果、参加者の住まいは元町 1 名、中町 10 名、新町 6 名、その他の 3 名であることが分かりました。また、毎日市内を 2 時

間半歩いている方、スポーツ自転車で月 500km 走る方、茅場の保全に関わっている方、住宅地の建替計画の委員の方、まちづくりに関心がある大学生など、多彩な方にご参加いただいていることが分かりました。



当日の会場（他己紹介・隣の人と対話中）

■閉会挨拶（フォーラム副会長・大和）

閉会に際して、フォーラム副会長・大和より、挨拶がありました。

浦安市には景観計画と同様に、都市計画マスタープランもある。記載の内容の通り進めば、よりよいまちになると実感しているが、協働ではまだ課題がある。市民の側からもなにができるのかを模索しており、われわれも歩きながら考えている。市川課長も実践が重要との意識をお持ちだ。行政や市民のみなさんと率直な意見交換を通じて取り組んでいきたい。

今年は昨年より一歩発展させた内容を考えている。多くの市民の方に輪を広げることが重要であり、第 2 回以降の講座にも参加していただきたい。本日はありがとうございました。

2015 年度浦安市協働事業

浦安景観まちづくり実践講座

浦安のより良い景観資源、 改善したい景観を、一緒に探しませんか！

浦安市景観計画・景観条例が策定されていますがご存知ですか。震災により浦安の景観は壊れ、元のみどり豊かな美しい景観が再生されるのか懸念されます。浦安の景観ブランドを再生するために、景観資源を活かした景観まちづくりを一緒に考えてみませんか。
今年度は、昨年の景観講座の知識を用いて、景観資源を探します。



プログラム

5/17(日)	キックオフミーティング	実践講座、景観資源調査内容について	開催済
7/19(日)	道路・みどり(軸)景観資源探し	選定した軸沿いの景観資源探し(まち歩き、調査整理)	
9/13(日)	水辺(軸)景観資源探し	選定した軸沿いの景観資源探し(まち歩き、調査整理)	
11/15(日)	元町(面)景観資源探し	選定した地区の景観資源探し(まち歩き、調査整理)	
1/17(日)	中町・新町(面)景観資源探し	選定した地区の景観資源探し(まち歩き、調査整理)	
2/21(日)	まとめ	景観資源調査のまとめ	
3/13(日)	発表会	景観資源調査の発表	

場所：市民プラザWAVE101等 費用：無料
時間：午前：まち歩き、午後：調査整理
募集人数：30名程度
※内容が一部変更になる場合があります。
※荒天の場合、延期する場合があります。

受付・問合せ
うらやす景観まちづくりフォーラム
【Eメール】asakawa@comdesign.jp
【FAX】047-712-6862
【電話】047-712-6861(担当浅川)

第2回 道路・みどり(軸)景観資源探し

実践講座の第2回は、午前中グループに分かれてシンボルロードかやなぎ通りをまち歩きし、道路沿いの「より良い景観資源」と「改善したい景観資源」を探します。午後は、探した景観資源を整理し、その後シンボルロード・やなぎ通りの整備について話をします。

【月日】7月19日(日)10時～16時 【場所】美浜公民館(第1会議室)
【対象】市内在住・在勤・在学・事業者の方、先着30名 【費用】無料(バス代実費)
【申込】氏名・年齢・性別・住所・電話番号をご記入のうえ、
ファックスまたはEメールで、うらやす景観まちづくりフォーラム(浅川)へ

「道路・みどり(軸)景観資源探し」開催報告

浦安市都市計画課・うらやす景観まちづくりフォーラムの協働事業として、2015 年度「浦安景観まちづくり実践講座」第2回、「道路・みどり(軸)景観資源探し」が、7月19日(日)美浜公民館で開催されました。午前10時より総勢28名の皆さんを、やなぎ通りグループとシンボルロードグループの2班に分け、道路沿いの「よい景観」と「改善したい景観」を探しに出発しました。猛暑の中、皆さんどうもありがとうございました。

午後にはフォーラムを開催し、探した景観資源の整理を行い、中山高樹さん(浦安市教育委員会生涯学習課)から、シンボルロードとやなぎ通りの整備と経緯についてご説明をいただきました。以下、当日の様子をご紹介します。



まち歩きの様子

■まちあるきの結果(やなぎ通りグループ)

美浜公民館からやなぎ通りに出て、東西線浦安駅前の歩道橋まで歩き、路線バスで公民館まで戻りました。①植栽、②道路、③看板、④建築物のカテゴリーに分け検討しました。

- ① **植栽** やなぎ通りなのに柳が少ない／柳を補充して街路樹にしてはどうか／湾岸道路の緩衝緑地帯は木も雑草も繁っており適切な管理が望まれる／景観計画に書かれているような辻空間の演出がよい
- ② **道路** シンボルロードの歩道の一部が自転車通行帯だが、分かりやすい表示が必要／やなぎ通りは電線の地中化ですっきりしているが、歩道の仕上げ材が統一されていない／道路標識では英文表記が無いものやローマ字表記のものが見受けられた／道路照明等も統一されていない
- ③ **看板** 浦安駅の入り口の看板が混乱している／広告の種類が多く、のぼり旗も景観

を阻害している

- ④ **建築物** 沿道の建物は色、形、高さ、材質全てバラバラなので、現在の貧弱な柳並木を他の樹種に切り替えて、見苦しい景観を少しでも隠すことが出来ないか



評価の高かった辻空間

■まちあるきの結果(シンボルロードグループ)

午後の講師の中山さんと一緒に美浜公民館からシンボルロードへ出て、総合公園まで歩き、路線バスで美浜公民館まで戻りました。①いい景観、②改善したい景観に分け検討しました。

- ① **いい景観** シンボルロード沿いは緑が緩衝帯になり電線もなく看板も目立たず、すっきりとしている／新浦安駅前の「うらやす100年モニュメントタワー」は1984年に100周年を記念して設置され、19.84mの高さ(中山さんの説明)／入船中央の緩衝緑地帯と歩道のレイアウトが美しく、特に歩道の曲線が素晴らしい／明海大学のキャンパスは起伏を設けたアメリカ的なランドスケープで高評価／シンボルロードの交差点角には街区公園や緑地などが整備されており良い評価



新浦安駅前のモニュメント

- ② **改善したいところ** 日の出地区の商業施設の看板は新町地区の景観に合わない配色もある／新町の道路では交差点名称や通り名称の整備がされていない／歩道上

の自転車通行帯の表示が分かりづらい／歩道上に点字ブロック、自転車道が混在している／照明柱や車止めがさびている

■やなぎ通り・シンボルロードについての講義

午後、中山さんからやなぎ通り・シンボルロードの整備と経緯、震災復興の対応、今後の課題について講義がありました。休憩の後、参加者の皆さんから、活発な意見と質問がありました。



教育委員会・中山高樹さん

- ・ **シンボルロードの整備**：シンボルロードは昭和 50 年当時、埋立地造成の土砂や資材を運ぶための工事用道路だったが、浦安市は昭和 62 年「浦安シンボルロード整備計画」において重要な都市軸として、浦安の象徴的な通りとして整備することにした。
- ・ **なぜシンボルロードなのか？**：昭和 60 年から平成 5 年まで、建設省（当時）はその都市を代表する通りの景観整備に補助金を付ける事業を行い、浦安のシンボルロードは全国で第 9 番目の補助対象事業として認定された。道路名称を募集したところ、「シンボルロード」という名称に馴染みがあったのか応募数が一番多く、採用された。
- ・ **新浦安駅前のシンボルロード整備**：浦安市の基本構想「緑あふれる海浜都市」に基づき、緑の大通りと住棟に連続する緑の空間整備を行った。入船東エステートはシンボルロードから一步入ると住棟に囲まれた緑豊かな環境が整備されている。
駅前の課題として、震災復興でステージが来ているが、京葉線開通後 20 年が経過し、魅力ある空間をどうつくっていくのか、見直す時代に入っていると思う。
- ・ **やなぎ通りの電線地中化**：浦安橋から湾岸道路までの整備で、関連事業主との協議で進めている。浦安駅前のスクランブル交差点から市民活動センターまでは、東京電力や NTT が単独で、大三角線の交差点までは県が CAB 事業で、市、東京電力、NTT でそれぞれ負担し

て整備をした。浦安橋側は未着手である。

- ・ **シンボルロードのリニューアル（課題）**：【中町】緊急輸送路としての機能維持、沿道街区道路のセットバックの維持とリニューアルが課題。【元町】浦安橋からの景観整備に取り組む必要があるが、浦安橋あたりは歩道幅員が不足、電線地中化も難しい。【新町】海風のまちの店舗付き住宅の活用、沿道商業施設等のリニューアル、セットバック用地とセミパブリックスペースの積極的活用と維持管理が必要。

■中山講師への質疑応答とディスカッション



当日の様子（中山さんと意見交換）

- ・ **やなぎ通りの柳は植えないのか**：柳は大きくなると扱いにくい。他の樹木（イチョウ、桜など）を検討したほうがいいと思う。
- ・ **やなぎ通りの電線地中化導入時、地権者や町会と協議したのか**：しっかりした対応はできなかったと思っている。特に大三角線から湾岸道路方面は県のための事業で実施され、市との関係は薄い。

2015 年度浦安市協働事業

浦安景観まちづくり実践講座

浦安のより良い景観資源、 改善したい景観を、一緒に探しませんか！

浦安市景観計画・景観条例が策定されていますがご存知ですか。震災により浦安の景観は壊れ、元のみどり豊かな美しい景観が再生されるのか懸念されます。浦安の景観ブランドを再生するために、景観資源を活かした景観まちづくりを一緒に考えてみませんか。
今年度は、昨年の景観講座の知識を用いて、景観資源を探します。



プログラム

5/17(日)	キックオフミーティング	実践講座、景観資源調査内容について	開催済
7/19(日)	道路・みどり(軸)景観資源探し	選定した軸沿いの景観資源探し(まち歩き、調査整理)	開催済
9/13(日)	水辺(軸)景観資源探し	選定した軸沿いの景観資源探し(まち歩き、調査整理)	
11/15(日)	元町(面)景観資源探し	選定した地区の景観資源探し(まち歩き、調査整理)	
1/17(日)	中町・新町(面)景観資源探し	選定した地区の景観資源探し(まち歩き、調査整理)	
2/21(日)	まとめ	景観資源調査のまとめ	
3/13(日)	発表会	景観資源調査の発表	

場所：市民プラザWAVE101等 費用：無料
時間：午前：まち歩き、午後：調査整理
募集人数：30名程度
※内容が一部変更になる場合があります。
※荒天の場合、延期する場合があります。

受付・問合せ
うらやす景観まちづくりフォーラム
【Eメール】 asakawa@comdesign.jp
【FAX】 047-712-6862
【電話】 047-712-6861 (担当浅川)

第3回 水辺(軸)景観資源探し

実践講座の第3回は、午前中グループに分かれて境川沿いを境川中央歩道橋から河口までまち歩きし、境川沿いの「より良い景観資源」と「改善したい景観資源」を探します。午後は、探した景観資源を整理し、その後千葉県の河川整備における親水景観づくりの考え方、境川沿いの市民活動の報告について話を聞きます。

【月日】 9月13日(日) 10時～16時 【場所】 高洲公民館(第1会議室)
【集合場所】 若潮公園(交通公園事務所前) 浦安市美浜2丁目15-1 9時50分
【対象】 市内在住・在勤・在学・事業者の方、先着30名 【費用】 無料
【申込】 氏名・年齢・性別・住所・電話番号をご記入のうえ、ファックスまたはEメールで。

うらやす景観まちづくりフォーラム ・ 浦安市都市計画課

「水辺(軸)の景観資源探し」開催報告

9月13日(日)浦安市都市計画課・うらやす景観まちづくりフォーラムの協働事業として、2015年度 浦安市協働提案事業「浦安景観まちづくり実践講座」(第3回)「水辺(軸)の景観資源探し」が開催されました。

午前10時に若潮交通公園に集合し、境川中央歩道橋から河口の高洲海浜公園まで、境川の中下流を右岸・左岸をジグザグに見て歩きました。昨年に引き続き、今回も浦安水辺の会の皆さんにもお手伝い頂きました。

午後1時から高洲公民館において行政の担当者の講演、境川沿いで市民団体のボランティア活動の報告の後、まち歩きで撮影した写真を見ながら、良い景観・改善したい景観についてワークショップが行われました。参加者は一般参加者に加え、千葉県及び浦安市の担当職員も含め、総勢33名でした。

■千葉県における水辺景観について(千葉県県土整備部河川環境課 企画班 中村副主査)

以下のような講演がありました。



千葉県県土整備部 中村副主査

- 河川行政は治水、利水、環境そして最近では多自然川づくりへと変遷してきている。
- 境川は中流域のレンガ張り護岸による景観整備は実施済み、上流域では現在施工中。環境に配慮しているが、基本は治水事業である。
- 国内外の先進事例では水辺の利活用が進んでおり、ムーブメントは一人のリーダーにフォロワーがつくことで広がっていく。「コンセプトは手堅く、アプローチは楽しく」という気持ちで、新しいフォロワーを獲得することが大切。

質疑の中で、以下のような回答がありました。

- 境川の中下流域の景観整備、堀江・猫実・

見明川の老朽化対策に合わせた景観整備については、住民の方から望ましいイメージを提案してもらえればありがたい。

- これからは河川だけでなく、道路、公園のコラボレーションが必要ではないか。

■公園の里親制度について(浦安市みどり公園課の高橋副主査)

以下のような講演がありました。



みどり公園課 高橋副主査

- 市では週1、2回の掃除・ゴミの搬出、週2、3回のトイレ清掃、年4回の除草作業、年3回の花壇の手入れ、年1回の低木整備等で、公園の美化に努めている。
- しかし、細かいところまで目が届かないため、里親制度がある。5人以上の市民、地域の人に継続的に公園の清掃、雑草取り等をしていただき、市が支援する。支援の仕方は、金銭ではなく、肥料、じょうろ、ホース、草刈り鎌などの物の支給及びボランティア保険の加入である。
- 10年以上の活動団体もあるが、新しいメンバーの参加が少なく高齢化が課題。ミニコンサートや親子・自然観察会などをやりながら継続しているところもある。毎日無理なく継続的に活動してほしい。

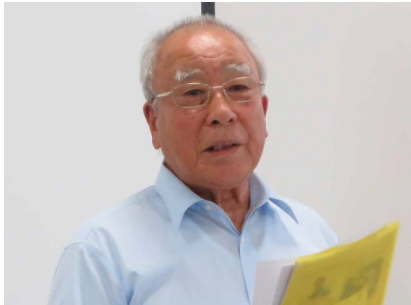
参加者より、5人以上にこだわらないで金銭補助や用具の貸し出しもしてほしい、街路樹の枝が自転車走行の支障になっているとの意見があり、要望として受け止めておくとのやり取りがありました。

■市民活動報告：高洲なかよし会・岡本会長

以下のような報告がありました。

- 助役を退職後、高洲の自治会長になった。浦安市は「緑あふれる海浜都市」を目指してきたが、当時の高洲は景観的に良くなか

った。周辺自治会と境川沿いに入船橋から河口まで「緑のプロムナードをつくろう」として話し合ったが、実現したのは高洲だけ。実践、実行が大事である。



高洲なかよし会 岡本会長

- 最初は自治会で始め、その後なかよし会をつくった。緑の里親制度にも応募したが実戦部隊に補助金が出ないのは問題。メンバーも最初は10人だったが今は3人。若手が集まらないのが悩み。少しずつ皆が手を動かし、輪を拡げていきたい。
- 水やりが問題。水栓は絶対必要である。

■市民活動報告：富岡中学校健全育成連絡会・友清会長

以下のような報告がありました。



富岡中健全育成連絡会友清会長

- 1999年当時、富岡中学校教頭先生の発案。100mに渡る花壇とプランター80個、年2回の花植え活動を16年続けている。2006年には農林水産大臣賞も受賞した。
- 年2回、健全育成活動に関わる地域の役員、学校、自治会、保護司のみなさん50人くらいで情報交換をやっている。
- 小学校、中学校、幼稚園の子供たちも300人前後参加し、年2回2時間くらいかけて花植えをする。事前の準備は30分程度。
- 通常の水やりは6人で2リットル入ペットボトルをリアカーに積んで行っている。中学校の生徒も部活の合間に手伝ってくれる。
- 設立時のメンバーが変わらずやっており、

次の世代に続かない。

質疑の中で以下のような回答がありました。

- メンバーの問題は一本釣りしかない。
- プランターの耐用年数は5、6年。毎年行事にして繰り返しやっていくしかない。
- 児童生徒は自分の描いた絵に愛着を持つ。

■まちあるきの結果（ワークショップ）

午前中、水辺の会のみなさんの案内で境川沿いをまちあるきをした結果を、①いい景観、②改善したい景観に分け検討しました。



当日の様子（たくさんの写真から検討！）

- ③ いい景観 ハゼ釣り、カヌーなど水辺を楽しんでいる風景／富岡中学校区健全育成連絡会・高洲なかよし会の彩り豊かな花壇／明海の丘公園と緑道のつながり／カワウ、ウミネコといった生き物がある風景／河川の視線が抜ける風景／街路樹とマンション内の植栽／高洲橋の重厚感のある欄干や街路灯／海浜公園の展望台から見下ろす風景／メタセコイアの並木
- ④ 改善したいところ 無機質で汚い護岸／雑草の管理／川沿いに建つ建物の不揃い／廃船やごみ溜まり

2015 年度浦安市協働事業

浦安景観まちづくり実践講座

浦安のより良い景観資源、 改善したい景観を、一緒に探しませんか！

浦安市景観計画・景観条例が策定されていますがご存知ですか。震災により浦安の景観は壊れ、元のみどり豊かな美しい景観が再生されるのか懸念されます。浦安の景観ブランドを再生するために、景観資源を活かした景観まちづくりを一緒に考えてみませんか。
今年度は、去年の景観講座の知識を用いて、景観資源を探します。



第4回 元町(面)景観資源探し 浦安の原点・元町の景観の温故知新を学ぶ

水産業や農業などの1次産業中心に歴史を重ねてきた浦安は、昭和42年の地下鉄東西線の開通を契機に、今日に至る3次産業型の住宅都市へと発展しました。計画的に開発されてきた中町・新町と異なり、神社仏閣や宇田川家・大塚家住宅など歴史的建造物もある浦安の生い立ちを知る上で、貴重な資源が保存されています。

また中町・新町の開発の歩みにあわせて、浦安の原点である元町も急速にその姿を変えつつあります。今回の第4回講座では、「元町を温故知新する」をテーマにその魅力を探ってみることにしました。午前中は、猫実地区と堀江地区のグループに分かれてまち歩きし、元町の「より良い景観資源」と「改善したい景観資源」を探します。午後は、元町の歴史・特性などの話を聞きながら、探した景観資源を整理します。

【月日】11月15日(日)9時半～16時半【費用】無料
【集合場所】中央公民館1階ロビー9時30分
【午後会場】市役所第2庁舎会議室
【申込】氏名・年齢・性別・住所・電話番号をご記入
のうえ、ファックスまたはEメールで。

受付・問合せ
うらやす景観まちづくりフォーラム
【Eメール】asakawa@comdesign.jp
【FAX】047-712-6862
【電話】090-1764-9868(担当浅川)

5/17(日)	キックオフミーティング	実践講座、景観資源調査内容について	開催済
7/19(日)	道路・みどり(軸)景観資源探し	選定した軸沿いの景観資源探し(まち歩き、調査)	開催済
9/13(日)	水辺(軸)景観資源探し	選定した軸沿いの景観資源探し(まち歩き、調査)	開催済
11/15(日)	元町(面)景観資源探し	選定した地区の景観資源探し(まち歩き、調査整理)	
1/17(日)	中町・新町(面)景観資源探し	選定した地区の景観資源探し(まち歩き、調査整理)	
2/21(日)	まとめ	景観資源調査のまとめ	
3/13(日)	発表会	景観資源調査の発表	

「元町(面)の景観資源探し」開催報告

11月15日(日)に浦安市都市計画課・うらやす景観まちづくりフォーラムの協働事業

「浦安景観まちづくり実践講座」(第4回)が、[元町(面)の魅力探し]をテーマに開催されました。今回は浦安の原点である猫実地区及び堀江地区を対象に、「元町の景観の温故知新を学ぶ」を主題にしました。

参加者は一般参加者13名、市の職員6名、UKMF(スタッフ)8名の総勢27名でした。

■元町のまちあるき

A、Bの2班編成でまち歩きをしました。中央公民館から猫実5丁目東地区を経て境川西水門までは同じルートを歩き、西水門付近からA班は猫実地区、B班は堀江地区を歩きました。

両地区は、漁村集落が市街地化したところで、浦安市の中心の地区です。境川沿いは漁業の名残のある景観があり、独自の地域コミュニティが形成されています。猫実5丁目東地区は木造住宅の密集と老朽化が防災・住環境上の課題があり、昭和58年(1983年)から「住宅市街地総合整備事業」が進められました。



猫実5丁目東地区の様子

境川を挟んだ猫実・堀江地区は木造住宅の密集や狭い道路が防災・生活環境面の課題となり、平成20年(2007年)から「新中通り周辺整備事業」として土地区画整理事業により市街地の改善が図られました。

2つの事業地区に連担する地域にある漁村集落の名残の路地を歩くと、建物の更新や空地化の進行など市街地が変化の様子を実感できました。A班は庚申塔並びに庚申通り(商店街)を経て、猫実地区を横断し、B班はフラワー通り(商店街)の昔日の面影を想像しながら、堀江地区を横断しました。中町・新町の新市街地

の創出と発展により、伝統的な生活が感じられる景観が変貌する様子を視察しました。



B班のガイド：井口学芸員

■まちあるきの結果のまとめ

午後の講座は、市役所第2庁舎にて行政の関係者を交えて行われました。まち歩きで撮影した写真をもとに、よい景観や改善したい景観(気になる景観)を共有し、元町の景観について全体でディスカッションしました。

■A班(猫実コース)発表コメント

- **よい景観**: 境川西水門周辺にはきれいな景観がある。鉄橋(東京メトロ東西線)のある風景は残したい。西境橋・境川歩道橋なども絵になる風景であり、新中橋は新しい魅力になる。5丁目の佃煮屋通り(仮称)は店舗等により街並みが活きている。人が生き生きとしている何気ない風景が良い景観をつくっていく。
- **改善したい景観**: 宮前通りや車のためのバイパス化している生活道路など、歩行者に安心感のない道路の改善は、よい景観への第1歩である。境川テラスは親水性を高め、水質の改善や樹木を増やすこと。川沿いに店舗などのアメニティ機能を高めることで、水辺の観光資源を活性化させ、景観まちづくりを充実させる。



A班発表の様子

- 河川空間が改修され、漁村の風景が消失するにつれ、川沿いの街区は川に背を向けるようになった。川との関係を見直したい。市民が憩える河川空間は、元町だけでなく浦安全体を輝かせる場になる。豊受神社の銀杏など一番美しいところで時間を過ごすことが観光であり良い景観によるまちづくりの基盤になる。
- 新中通りの事業地区は住宅展示場のようで元町らしくない。古い景観（良いコミュニティの伝統も）を残すことも必要。フラワー通り・東学寺前での銭湯の保存の失敗から学ぶべきことがあるのでは。

■B班（堀江コース）発表コメント

- 古い風景は良い評価が多く、新しい風景の評価に差はなかったが多くの課題が指摘された。
- 境川：コメントが一番多かった境川は、護岸が整備されても市民の利用は不十分。川沿いの民地との関係が弱い。建物も生活も川に背を向けている。古い街並みの路地も漁村の面影を失いつつある。路地の表層材にくだいた貝殻を使えば伝統を引き継ぐ工夫になるのでは。
- 提案：市が買い上げた土地を空き地のままでなく、暫定利用する工夫が必要。レンタルボックスや自動販売機など景観を阻害するものへの規制が必要ではないか。寺社建築物や大型民家を保全と同時に活用が重要。人が回遊できるルートやプログラムが普及するとよい。
- 良い景観：寺社、宇田川邸、銭湯、店舗、古木等歴史を感じるもの。リンドの水凧点も貴重な財産であり、境川西水門を取り込



B班話し合いの様子

んだ境川筋の景観はよい景観である。よい



会場の様子（休憩時）

景観には地域の参画が効果的で、フラワー通りの側溝の絵は学校参加型協働のシンボルといえる。

- 気になる景観：元町のアパートは若い独身者が多く、自然環境（緑）への関心が弱い。生活の廃棄物に埋もれてしまうのでないかと心配される。街中に人が少なく、賑わいのあるまちにすることが必要。
- 景観とまちづくり：よい景観づくりには、維持管理に住民、地権者の参画が必要で、実効的な方策づくりには行政・住民の協働による戦略づくりが必要。よいまちづくりには地域住民とともに来住する人たちの参画も必要である。

■総合的考察（全体ディスカッション）

- 今後の元町：埋立てにより元町からの流出が進み、余白を新住民が埋めるようになった。歴史や伝統を感じられる景観が変化した。猫実・堀江地区などの元町の代表的な地域でも人通りは少なく、境川も水上を賑わせるものがないのが心配。
- 歴史的・伝統的な拠点（寺社）を活かした祭りや祝いの復活：初詣、七五三、秋祭り、縁日等々市民全体が参画する機会を積極的に活用してはどうか。
- 漁業の機能的空間的再生：境川筋の改善に連担する空地の活用を市民運動として取組んで行くことが必要。元町における境川は地域の産業と生活の中心であり、点在する空地と連携して元町の活性化が考えられないか。市全体で見れば境川は、主要幹線道路の陸の中心軸に対して水（水路）の中心軸となっている。アメニティを中心と

する都市軸として開発整備することが適している。

- 先取的な住民気質：元町の人たちには持続的に物事に取り組んで行くタイプと、決めたらさっさと取組みを進めて行くタイプがある。猫実5丁目の事業のように着手以来30年以上にわたって持続的に進める気質と、新中通り区画整理事業のように6年で完成させるような気質がある。

■ゲストのコメント

●市川都市計画課長

元町には喫緊の課題として防災対策がある。浦安らしさが未整理のままに区画整理をすれば元町らしさが無くなってしまう。「・・・らしさ」については、住民が意識していないこともある反面、中町、新町の人が認識していることもある。本講座のようなことをもとに、地権者と議論できればと考えている。



市川都市計画課長

●土久企画政策課係長

昔は、元町はノスタルジーの対象という印象があった。今日は自分事の延長として語られていたのではないか。境川の話は、今すぐできなくてもいい、20年、30年かけてしていけばよいのでは。



土久企画政策課係長

●醍醐元都市整備部長

元町は漁師町の風情を残す貴重な景観資源である。元町の再整備は当初の総合計画時から取組んできた。(元町に残る)旧市街地は、いろいろな手法で取組んで行かなければならない。元町の良さを残しながら整備することは一番の課

題だが、良さと悪さは表裏一体、元町らしさを残すのは難しい。後輩の皆さんにも取組んで欲しい。



醍醐元都市整備部長

浦安景観まちづくり実践講座

浦安のより良い景観資源、 改善したい景観を、一緒に探しませんか！

浦安市景観計画・景観条例が策定されていますがご存知ですか。震災により浦安の景観は壊れ、元のみどり豊かな美しい景観が再生されるのか懸念されます。浦安の景観ブランドを再生するために、景観資源を活かした景観まちづくりを一緒に考えてみませんか。
今年度は、昨年の景観講座の知識を用いて、景観資源を探します。



第4回 中町(面)景観資源探し 開発経緯の違う住宅地を見て学ぶ

中町地区は戸建住宅地と大規模集合住宅が計画的に開発されてから30年が経過し、当初の景観から少し変化が出てきている。特に戸建住宅地においては、用途変更や建替えによる形態や道路沿いの設え、植栽の減少などの街並みの変化が見られる。

今回その中で、計画的に開発された美浜3丁目地区と、土地区画整理で開発された今川1・2・3・4丁目地区を取り上げて、午前は、2グループに分かれてまち歩き、「より良い景観資源」と「改善したい景観資源」を探します。午後は、地区の歴史・特性などの話を聞きながら、探した景観資源を整理します。

【月日】1月17日(日)10時～16時半【費用】無料
【集合場所】9時50分若潮公園(美浜2丁目15)
【午後会場】うらやす市民大学(美浜小学校内)
【申込】氏名・年齢・性別・住所・電話番号をご記入
のうえ、ファックスまたはEメールで。

受付・問合せ
うらやす景観まちづくりフォーラム
【Eメール】asakawa@comdesign.jp
【FAX】047-712-6862
【電話】090-1764-9868(担当浅川)

5/17(日)	キックオフミーティング	実践講座、景観資源調査内容について	開催済
7/19(日)	道路・みどり(軸)景観資源探し	選定した軸沿いの景観資源探し(まち歩き、調査整理)	開催済
9/13(日)	水辺(軸)景観資源探し	選定した軸沿いの景観資源探し(まち歩き、調査整理)	開催済
11/15(日)	元町(面)景観資源探し	選定した地区の景観資源探し(まち歩き、調査整理)	開催済
1/17(日)	中町(面)景観資源探し	選定した地区の景観資源探し(まち歩き、調査整理)	
2/21(日)	まとめ	景観資源調査のまとめ	
3/13(日)	発表会	景観資源調査の発表	

「中町(面)の景観資源探し 開発経緯の違う住宅地を見て学ぶ」開催報告

1 月 17 日(日)に浦安市都市計画課・うらやす景観まちづくりフォーラムの協働事業「浦安景観まちづくり実践講座」(第5回)が、「中町(面)の景観探し」をテーマに開催されました。今回は今川地区、美浜3丁目の「開発経緯の違う住宅地を見て学ぶ」を主題にしました。

午前9時 50 分に若潮公園に集合し、A、B の2班編成で今川地区、美浜3丁目を歩きました。参加者は一般参加者 10 名、市の職員 3 名、UKMF(スタッフ) 8 名の総勢 21 名でした。

■中町のまちあるき

今川地区は 70 坪程度の邸宅が随所に見られる一方、集合住宅も多くありました。有名人のお宅もあり、改めて今川地区の多様性を感じました。戸建住宅、集合住宅とも多様なデザインがあり、楽しく歩くことができましたが、全体に植栽が少ないのが残念でした。

美浜3丁目は計画的に開発された戸建住宅の街並みなので、宅地のレンガの土留めとカイズカイクキの生垣が、閑静な緑の潤いのある街並みとなっていました。



まち歩きの様子

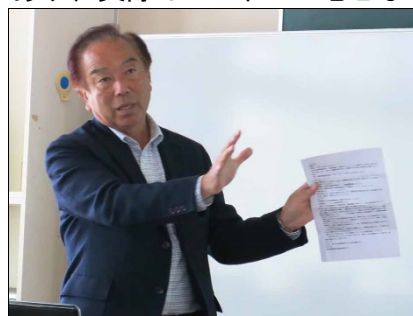
■まちあるきの結果のまとめ

午後の講座(ワークショップ)は、市民大学の教室にて、最初に醍醐さん(元都市整備部長)から今川地区の開発経緯を聞きました。

■醍醐さん(元都市整備部長)のお話

- 今川地区は組合施行の土地区画整理事業により開発された。埋立て第1期の昭和37年に漁業権が一部放棄となり、その漁業補償として造成した土地を渡すことになった。漁民の多くは、いつになるかわからないので、権利書を買ってしまった。最初はおよそ 100 坪の権利があったが、公園

や道路の公共用地や工事費を生む保留地があり、実際は 70 坪の土地となった。



元都市整備部長・醍醐さん

- 昭和 43 年に「浦安町漁業用地開発促進会」を結成、翌 48 年「今川土地 区画整理組合」が設立、昭和 50 年仮換地指定がされた。845 区画に、昭和 50~56 年までに 333 世帯が住むことになった。土地を取得した経緯や購入時期により、様々な居住形態となっている。
- 地区の中央、東西方向に歩道付き 12m の幹線道路があるが、南北方向の 8m 道路の方が、交通量が多く、お店も多い。
- 今川自治会には建築制限の申し合わせがあったが、十分運用できなかった。申し合わせのため法的拘束力がなく、所有権の変更に伴い、守られなくなっていった。

■浅川(まちづくりアドバイザー・UKMF)の話

次に住民発意の地区計画を行った美浜3丁目について、まちづくりアドバイザーの浅川(UKMF)の話を聞きました。

- 昭和 55 年、三井不不動産の建売住宅を主体として開発された。街区の外周から車のアプローチがなく、外周は生垣等の植栽があり、緑に囲まれている。
- 街区の中は生垣が連続した街並みであったが、近年は建替えの増加、高齢化で植栽管理が難しくなる等の理由から、生垣や植栽が少なくなっている。
- 街区北側は湾岸道路に接していて、道路沿い 50m が第一種住居地域、中は第一種低層住居専用地域と用途も建坪率/容積率も違っている。第一種住居地域の方は三階建て、共同住宅ができています。
- 高齢化率は 28.1% (平成 21 年) から 41%

(平成 27 年)と増加しているが、年少人口も増加している。人口は減少する一方、世帯数が増加。2 世帯住宅が増えているの



浅川さんの発表と会場との質疑の様子

- ではないか。世代が変わる時期である。
- まちづくり委員会で約 1 年半かけて地区計画案をまとめたが、震災もあり、平成 26 年に地区計画ができた。制限内容は、共同住宅、3 戸以上の長屋は禁止し、それ以外は建築可能で、最低敷地面積の限度は 150 m²と最低限維持できるものとなった。

当時自治会長の辻さんが参加していただき、「地区計画で壁面後退 1m の制限が認められなかったので、液状化対策工事に影響があったと思う」とコメントがありました。

■各グループの発表

●A 班の発表(浅川)

- 今川は京葉線高架横の緑道が効果的で反対側の集合住宅やお店と合わせていい通りになりそう。
- 今川橋を渡るのに、歩行者と自転車が錯綜して危険。緑道を歩行者専用橋で繋げたらという意見もあった。
- アパートが派手な色が多く、若い人向けなのではないか。今の景観計画では問題となる色合いが多い。
- 建物の道路側に窓がない、閉鎖的な建物が多く、道路側の植栽が貧しい。建物の前にもっと緑があったらいい。
- 堤防跡は壊した方がいいという意見と、松林とセットで残して修景するのが良いという意見があった。
- 不在地主の管理ができていない敷地があり、周辺としては危険な状況である。

- 和モダンないいまちなみがあるが、裏側に大きな看板があり、配慮が必要である。

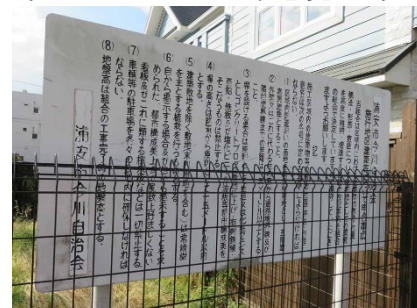


A 班発表の様子

- 美浜に 2 軒連続で生垣が揃って刈り込まれ、緑の連続性ができて大変評価できる場所がある。生垣を残しながら建て替えているところもある。
- 電線から建物に直接電線が入るのが普通だが、受電ポールでまとめているものがあり、いい景観である。

●B 班(佐久間)

- 今川を中心に歩いた。共同住宅・戸建てグループ、道路・コミュニティといった社会基盤に関するグループに分けて整理した。
- 共同住宅は道路側が配慮されたもの、共同住宅に見えないお洒落なものがあるが、派手な色彩のものは課題である。古い共同住宅は建て替えた方がよいという意見もあれば、低所得者の味方だという意見もあった。同じ対象で評価が分かれた。
- 戸建ては、多様な形があったのが特徴で、目印になっているものや、こざいなもの、きれいだけれど暖かみが感じられないものがあった。
- 多様でバラバラな建物が課題という意見があったが、住宅展示場のようで歩いて楽しかったという意見もあった。
- 道路は、12m と余裕があるのなら歩道が必要ではという意見、8m の道路は緑がもっとあったらいいという意見があった。



申し合わせの看板(今川)

- 有名無実化してしまった申し合わせの看板が撤去しないままなのは、今川の良心の表れではないか、という意見があった。
- 今川記念館の色彩は、暗くてよくないという意見の一方、人が集まる場でよいという意見があった。多様な今川のコミュニティの拠点になっていくことを期待するという意見があった。

■ゲストのコメント

●醍醐元都市整備部長

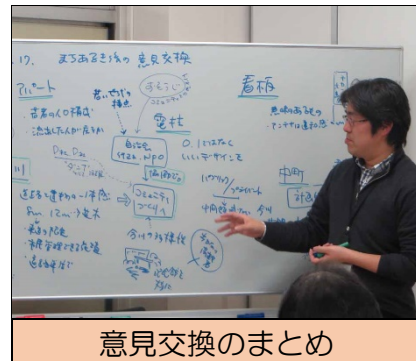
- 浦安のまちづくりに長年関わってきた。美浜地区は大規模デベロッパーと協議しながらつくってきたが、どう保全・改善していくのかという課題が見えてきた。
- 今日、いろんな意見がでたが、どうルールづくりを考えていくかが、まさに協働が問われる。地域に住んでいる方を交えて、こうした議論が広がることを期待したい。そのなかから次のまちづくりのきっかけ、仕組みが出てくるのではないかな。

■まとめ（佐久間）

発表後の意見交換では以下のような意見がありました。

- アパートについては、統一されたまちなみの観点から課題でもあれば、若者を呼び入れバランスのとれた人口構成に必要という意見もある。震災で出て行ってしまった人が戻ってくるかが課題である。
- 電柱は、地下埋設の是非だけでは極端な議論になってしまうが、今ある電柱をよいデザインにしていく考えもある。
- 「痴漢注意！」のような看板は、意味があるのか。痴漢をしようとしている人を返って呼び寄せてしまうのではないかな。
- 今川は、道路と建物の一体感がないのか課題。道路の基盤はしっかりしているので、並木、カラー舗装、市民が関われる花壇など、道路を単位にしたコミュニティ
- づくりの可能性がある。
- 今川と美浜は計画的という点で共通している。美浜は建売住宅地であり、今川は計画的な基盤がある。今川は基盤ができた後、各敷地で建物ができたので、公共領域と私的領域の間がない。中間領域のデザインがよくないのが課題である。
- 今川記念館でも話題になったが、地域とア

パートに住む若い世代の接点をどうつくるかが課題。掃除がコミュニティづくりのきっかけになるのではないかな。



今川の景観的な多様性は課題ですが、可能性も見えてきたように思います。異なる世代、行政、自治会、NPOの異なる主体との協働の場が各地区の景観、浦安の景観につながっていくのではないのでしょうか。今回、元自治会長の辻さんに来ていただいたように、今後も地域の方と一緒に考える場を持てればと思います。

景観まちづくり情報サイト「うら景まち広場」

検索

第6回参加者募集

2015 年度浦安市協働事業

浦安景観まちづくり実践講座

浦安のより良い景観資源、 改善したい景観を、一緒に探しませんか！

浦安市景観計画・景観条例が策定されていますがご存知ですか。震災により浦安の景観は壊れ、元のみどり豊かな美しい景観が再生されるのか懸念されます。浦安の景観ブランドを再生するために、景観資源を活かした景観まちづくりを一緒に考えてみませんか。
今年度は、昨年の景観講座の知識を用いて、景観資源を探します。



第6回 景観資源調査のまとめ

実践講座第2回はシンボルロードとやなぎ通りをまち歩き、実践講座第3回は、境川沿いを境川中央歩道橋から河口までまち歩き、実践講座第4回は、猫実地区と堀江地区のグループに分かれてまち歩き、実践講座第5回は、今川地区と美浜3丁目の戸建て地区をまち歩きました。景観ができた経緯や地区の状況、景観づくりに取り組んでいる方の話を聞いたりしながら「より良い景観資源」と「改善したい景観資源」を探し抽出しました。今回は、まち歩きで探した資源を地区ごとに整理し、良い景観はどのように保全するか、改善したい景観は改善策を考え、提案内容をまとめます。



【月日】2月21日(日)13時～16時半【費用】無料
【集合時間】12時50分
【開催場所】浦安市民プラザWAVE101(サロン6)
【申込】氏名・年齢・性別・住所・電話番号をご記入
のうえ、ファックスまたはEメールで。

受付・問合せ
うらやす景観まちづくりフォーラム
【Eメール】asakawa@comdesign.jp
【FAX】047-712-6862
【電話】090-1764-9868(担当浅川)

5/17(日)	キックオフミーティング	実践講座、景観資源調査内容について	開催済
7/19(日)	道路・みどり(軸)景観資源探し	選定した軸沿いの景観資源探し(まち歩き、調査整理)	開催済
9/13(日)	水辺(軸)景観資源探し	選定した軸沿いの景観資源探し(まち歩き、調査整理)	開催済
11/15(日)	元町(面)景観資源探し	選定した地区の景観資源探し(まち歩き、調査整理)	開催済
1/17(日)	中町(面)景観資源探し	選定した地区の景観資源探し(まち歩き、調査整理)	開催済
2/21(日)	まとめ	景観資源調査のまとめ	
3/13(日)	基調講演・発表会	阪本先生の基調講演・景観資源調査の発表	

景観資源調査のまとめ 開催報告

2 月 16 日(日曜日)浦安市民プラザ WAVE101 において、景観資源調査のまとめ作業が行われ、総勢 22 名が参加しました。



最初に浅川(UKMF)が、今回の主旨説明を行ないました。実践講座第2回はシンボルロードとやなぎ通りに分かれてまち歩き、実践講座第3回は、境川沿いを境川中央歩道橋から河口までまち歩き、実践講座第4回は、猫実地区と堀江地区のグループに分かれてまち歩き、実践講座第5回は、今川地区と美浜3丁目の戸建地区をまち歩きしました。

景観ができた経緯や地区の状況、景観づくりに取り組んでいる方の話を聞いたりしながら「より良い景観資源」と「改善したい景観資源」を探し抽出しました。今回は、まち歩きで探した資源を地区ごとに整理し、良い景観はどのように保全するか、改善したい景観は改善策を考え、提案内容をまとめる作業を4つのグループに分かれて作業がおこなわれました。

A グループは軸の景観 シンボルロード・やなぎ通り、B グループは軸の景観 境川沿い、C グループは面の景観 元町猫実地区と堀江地区、D グループは面の景観 中町今川地区と美浜3丁目地区、参加した回を前提にグループを振り分けました。

シンボルロード、やなぎ通り、境川沿い(中流から河口)、猫実地区、堀江地区、今川地区、美浜3丁目地区に分けて、参加者が写真を選び

コメントした写真を、良い景観と改善したい景観に分けて、さらに小分類(建物、道路、緑、水、生物、営み、など)し、重要度、コメント、住所がわかる景観資源リストと、各回講座報告の資料を基に、思い出しながら行ないました。

最初に、各地区の資源リストを確認し、景観資源リストから、重要と思われる良い景観・改善したい景観を各5か所選びました。その後選定した各所毎に、良い景観つくられた経緯、なぜこの景観が良いのか、どのように保全・促進するのがよいのか、保全・促進するには市民・地域・行政の役割は何か。

改善したい景観も、つくられた経緯、なぜこの景観が良くないのか、どのように改善するのが良いのか、改善を進めるには市民・地域・行政の役割は何か、について検討をしました。



最後にその結果を各グループの方から報告していただきました。

その成果を次回の発表会用にパワーポイントにする作業は、事務局がおこなうことになり、発表者を決めて終了となりました。

**2015
浦安景観
まちづくり
実践講座
発表会**

浦安市協働事業 浦安景観まちづくり実践講座

景観まちづくりを考える

講演 「浦安市の街を考える」

阪本一郎氏 明海大学不動産学部教授



7/19 やなぎ通り・シンボルロード



9/13 境川中町から河口



11/15 境川中町から河口



1/17 今川・美浜3丁目

3月13日(日)

13時～16時30分

浦安市民プラザ WAVE101 大ホール

阪本一郎氏 プロフィール

明海大学不動産学部教授、浦安市都市計画審議会会長、浦安市市民大学副学長、1980年東京工業大学博士課程修了 1994年現職。

工学博士（東京工業大学）。専門は都市計画。

著書に、「都市計画教科書第3版」彰国社、2000、「不動産学事典」住宅新報社、2002、放送大学教科書：「都市と生活空間の工学」

2000、「都市システム工学」2003、「生活者のための不動産学入門」2013 ほか多数。

最初に、阪本一郎明海大学不動産学部教授から、浦安とともに過ごした22年を振り返って、「浦安市の街を考える」お話を聞きます。その後、実践講座でまち歩きをして調べた、軸と面の景観資源から地区ごとに「より良い景観資源」と「改善したい景観資源」を抽出した提案内容を発表します。最後に、これからの景観まちづくりについて、参加者の皆さんと一緒に意見交換をします。多くの方のご参加を、お待ちしております。

【日時】3月13日(日)13時～16時半(受付12時半)

【場所】浦安市民プラザ WAVE101 大ホール

(浦安市入船1-4-1 ショッピングプラザ新浦安4階)

【費用】無料 【定員】80名

【問合せ】うらやす景観まちづくりフォーラム(浅川)
090-1764-9868

【申込み】氏名・年齢・性別・住所・電話番号を記入の
うえ、ファックス又はEメールで

【FAX】047-712-6862

【Eメール】asakawa@comdesign.jp

【申込み期日】3月11日(金)

うらやす景観まちづくりフォーラム 浦安市都市計画課

講演 & 発表会「景観まちづくりを考える」開催報告

3 月 13 日(日)に浦安市都市計画課・うらやす景観まちづくりフォーラムの協働事業「浦安景観まちづくり実践講座」(第 7 回)が、「景観まちづくりを考える」をテーマに開催されました。最初に阪本一郎先生による講演、その後、景観資源調査発表会が行われました。参加者は一般参加者 30 名、市の職員 7 名、UKMF(スタッフ) 8 名の総勢 45 名でした。

■開会あいさつ

最初に市川達也・浦安市都市計画課課長から開会のあいさつがありました。



市川都市計画課長の挨拶

■阪本先生講演「浦安市の街を考える」

浦安市都市計画審議会を務められ、2016 年 3 月で大学を退職される阪本一郎・明海大学不動産学部教授による講演がありました。



阪本一郎先生の講演の様子

- 浦安との関わりは昼間人口として 22 年。消費者として新浦安の駅前の飲食店に貢献してきた。個人的には浦安での人との出会いが財産だ。また、明海大学の教育・研究の場でもあった。そこから話したい。

(研究対象として：ゼミ論文)

- 3 年生のゼミ論文のうち近隣・街区公園の利用実態に関する研究を紹介する。
- 調査の結果、市内の公園はほとんど使われ

ていない。人がいない。非常に驚いた。

- 新町の公園でもない。集合住宅内の広場で遊んでくれた方が親は安心。市の公園はなかなか使っていない。
- 公園は、利用する価値、オープンスペース、緑地などの環境資源としての価値がある。公園をいっそ環境資源として位置づけて、徹底的に緑を植えるのも考え方。
- また、休憩所、集会所、カフェなどを設け、庭付き集会施設にするのも一つの考え方。従来の利用価値とは違うが、そういったことを考えてもいい。

(研究対象として：卒業論文)

- 中町住宅地の住み替えに関する研究を紹介したい。
- 中町は浦安市の中で最も高齢化が進行しているが他の要素も関連していないか、(戸建ての多い)美浜 3 丁目・今川 2 丁目、(集合住宅の多い)京成サンコーポ・入船中央エステートの 4 地域を対象に 23 年間(1991-2014)、どれだけ人が住み替えたかを調べた。
- 結果、戸建ての多い地区は住み続けている人が 6 割以上と集合住宅より多かった。集合住宅でも階が分かれていないところの方が多かった。高齢者に住みやすい住戸ほど残る(高齢化が著しい)といえる。
- 高齢者が住み続けること自体は良いが、若年・中年層の転入も重要。若年・中年層向けの居住サービスの向上だけでなく彼らの住む場所の提供が必要であろう。中町、新町で考えると団地の建て替えの際に検討する必要はあるだろう。

(研究対象として：博士論文 1)

- 「浦安市における東日本大震災時の自治会活動と担い手に関する研究」という博士論文がある。
- 震災後、被害があった 62 自治会のうち 38 自治会で対策本部が立ち上がった。統計分析の結果、対策本部が立ち上がったところはお祭り、夜回り、子ども会といった日々の活動が活発であった。防災活動と対策本

部の立ち上げには有意な関係はなかった。想定外の被災だったこと、役員や担当者が不在だったことが理由であった。



会場の様子

- 計画集合住宅地で、被災時に担い手になった人の割合をみると 30 代以下は 3%、60 代は 45% だった。コミュニティにおける高年齢者の重要性が指摘される。

(研究対象として：博士論文 2)

- 浦安ではないが、商業地景観を対象に調和概念を研究した博士論文を紹介する。
- 商業地を対象としている 46 の景観計画を選定した。
- 基本方針の用語、666 を抽出し独自性、高質性、賑わい、調和、安らぎ、開放と 6 つに分類した結果、賑わいが多かった。
- 景観形成基準、1284 語では 43% が調和を主張している。賑わいは 9.8% にすぎない。
- つまり、賑わいが目標でも具体的な基準は調和が求められるということが分かる。
- 物的な街並みの調和は分かるが、生活景における調和とはなにか、景観フォーラムのみなさんには考えて欲しい課題だ。

(浦安への所感：人の気配のする街へ)

- 今思うのは、子どもの姿の不在。先ほどの公園のようにいて欲しいところにいる。子どもだけでなく、人気の感じられない住宅地もある。
- 計画住宅地は閉鎖型が多い。団地の周りを塀で囲んで外から人が来ないようにする、戸建ての住宅地でも家の中の気配が全く感じられない。
- 賑わいのある商店街は浦安にない。賑わいはショッピングセンターなど建物の中にある。景観上大きな問題ではないか。

(土地利用の変化にあわせた景観変化)

- たとえば低層市街地に中高層マンションが建設される。従来の街並みの破壊であることは間違いないが、人は増加する。
- 建て替えがあるとミニ開発のように高密度化する。新しい建物になるが、どこにでもある街、底の浅い街になりはしないか。
- 一方で、塀がないため敷地の空間と道路がつながっている。建物同士の間隔はないが、家の前だけは精一杯空間をつくる。そこに唯一の木を植えるなど、いい空間が生まれる可能性がある。ミニ開発が、いい景観につながるつくり方をしているかが重要ではないか。
- たとえば入船 4 丁目のように低層住宅地への商業業務施設の侵入がみられる。塾やお店ができ、人、来街者の増加が活気につながるか、騒々しさにつながるかは、よく見極めた方がいい。
- これから計画集合住宅地の建て替えがある。その際にもう少し開放型にできないか。住宅の敷地の中を人が通るとどうかとは思いますが、明海大学の中を通勤通学、保育園に通う人を迷惑と感じたことはない。
- 計画戸建て住宅の荒廃も想定される。居住の継続率は高く、高齢化もしやすいが、事情で空き家になり、投資されない住宅が増える可能性も懸念される。
- 鉄鋼団地は全国レベルの大規模工業用地。しかし、鉄鋼の生産は余っている。世界の景気次第で鉄鋼団地の企業が「うちはやっていけない」と言い出す可能性もある。半分ぐらいの企業がやめてしまったときの対応は考えておく必要がある。ホテル、ショッピングセンター、物流センターなどが考えられるが、周辺住宅地との調和、人の流れの誘導は課題になるだろう。

(生活景の豊かな街へ)

- 「生活景」という言葉がある。人の気配の感じられる街が生活景の条件ではないか。
- イタリア、スペインのまちのように窓辺、バルコニーに人の気配のする街が求められる。新しい家も道路側に窓が欲しい。幕張の中層マンションは道路からすぐ建物があり街と住んでいる人との距離が近い。こうした思想が求められるだろう。

- 計画集合住宅地は、敷地を開放してはどうか。一般市街地では、道路空間のコミュニティ空間化ができないだろうか。昔から道路に鉢植えや縁台を置き、子どもが遊ぶ、立ち話をする、ということが安心してできる空間があった。中町、新町でも考えてみてはどうか。

(相対評価から絶対評価の街へ)

- 現在の浦安は相対評価の街に留まっている。機能の優れた街、快適な街、住みやすい街と、他の街と比べて評価される街。これからは絶対評価の街が必要。自分のふるさと「うらやす」になるかどうか。
- そのためには人々と地域の関わりが必要。自分たちの景色を持つ、生活景を持つことが大事なのではないか。

■2015 年度景観まちづくり実践講座報告



実践報告の様子

休憩の後、浅川潔（UKMF）が今年度の浦安景観まちづくり実践講座を報告しました。

浦安市との協働事業である浦安景観まちづくり啓発事業の目的・事業内容から、各回の実践講座の様子を写真などで紹介し、最後に「うらまち景広場」のホームページも紹介しました。

■まち歩き景観資源調査報告



景観資源調査報告の様子

これまでのまちあるきの内容を、まち歩き景観資源調査報告として発表しました。

A班は「軸」やなぎ通り・シンボルロードについて、若江均さんが明るいシンボルロードの

景観や市民に開かれた明海大学のキャンパス、ポケットパーク的な辻空間といった良い景観と、歩行者と自転車の通行区分、道路名のローマ字表記、派手な色彩の店舗の改善について発表しました。

B班は「軸」境川沿い（境川中央歩道橋下流域）について、大和稔（UKMF）が境川の活動できる景観や境川の抜ける景観、河口部と海辺の結節点の大事さ、緑道の花壇美化活動などの良い景観と、護岸が無機質で親水性のない景観、管理者不在の花壇や緑道の改善について発表しました。

C班は、「面」元町の堀江・猫実地区について、小林裕（UKMF）浦安の歴史を感じさせる清龍神社や境川西水門、古い民家や店舗の歴史を感じさせる改修や新しい戸建住宅の良い景観と、境川の景観整備、路地空間の改善や空き地の活用などの改善箇所について発表しました。

D班は今川地区と美浜3丁目地区について、吉崎寛さんが美浜3丁目の生垣の連なりや今川地区のお洒落な共同住宅、堤防跡と松林の保全、今川自治会当時の建築規則などの良い景観と、今川橋歩道の危険性や共同住宅の派手な色彩、無機質な幅員が広い道路の改善について発表しました。

これらの発表を元に各班でグループディスカッションに入りました。



グループディスカッションの様子

■グループディスカッション・各班の報告

- A班：美浜3丁目の生垣は揃いすぎ閉鎖的で治安上問題ではないか、境川のカヌー利用の活性化を企業と組んでイベントを開

催してみたい、街路樹に合う木と合わない木があるので選別が必要、海に近く海拔表示や避難表示など安全対策も必要、花壇の手入れを市民が行うのは良いが行政のサポートもほしい、シンボルロードは明るくて素晴らしいが、大型店舗の派手な色彩は改善してほしいなどの意見がありました。

- **B 班**：関心事については、海と川の水辺をどう活かすのか、維持管理に市民がどう関わるのか、景観は行政だけではできないので行政と市民が思いを同じくするために多くの人に関心を持ってもらう、市民サイドからまち歩き、行政がどう考えているのか、住民参加のあり方、先進事例から学ぶ、などの意見がありました。
- **C 班**：元町を新町や中町の方が自分のものとして意識できない、元町は広いがいつも堀江と猫実しか出てこない、他の地区についても考えなければいけない、お祭りでは元町に行くが日常的な繋がりが少ない、新町・中町の市民は元町（お店や人など）との交流が必要ではないか、などの意見がありました。
- **D 班**：境川の河口について海との結節点が重要であり、今後船溜りが開発されて核ができるのではないかと、今川地区は当初ルールがあったがその復活、他の地区でも地区のルールや憲章が必要ではないか、良い景観や建物を表彰すると継続的な維持や市民や事業者のモデルとなることが期待できる、今川橋の歩道の安全性を高めることは重要であるなどの意見がありました。

■総括

今回の皆さんの意見を聞いて、浅川が来年度の活動内容について、いい景観の表彰、市民対象から地区対象にしたまちあるき、地区の課題抽出やルールづくり、先進事例から学ぶ、活動団体から話を聞き連携を高めることを行ないたい、と話がありました。

■閉会あいさつ

小林裕（UKMF 代表）から、2年間の啓発事業は終わるが2年目は自分たちの地域を掘り下げることができたが、来年は行政の計画を知らず、地域の取り組みから景観を考えること

を進めたいと挨拶がありました。



提案内容については 27 頁から 34 頁を参照

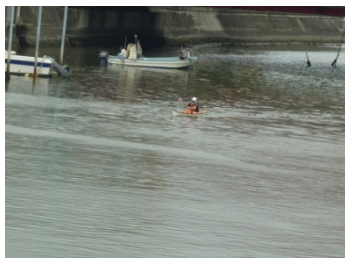
うらやす景観資源 提案シートまとめ

No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
A-01	明るいシンボルロード		新浦安駅前歩道橋	良い	● 広い幅員、電線の地下埋設などによって空が広くて開放感がある。	シンボルロードのよさを進化させる	● 自転車の区分表示があるとよい。 ● 自転車は左側通行の励行。 ● 標識表示でわかりやすく伝えられるように。	・ 自治会などゴミを拾う。 ・ 自転車・歩行者ともに通行区分を守る		・ 自転車歩行者の通行区分を明示する標識を検討する
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
A-02	市民に開かれたキャンパス		明海大学キャンパス 明海1-2-1	良い	● 広いシンボルロードに接したオープンなキャンパスが広い空間を作り出して開放感にあふれている。 ● 市民が大学の施設、人材と交流することをかたちとして演出している	元町にパッサージュを	● 元町の持つゴチャゴチャ感を活かし、誌が買収を進めている空地と商業店舗を一体化することにより、気楽に気安く回遊できる商業ゾーンを整備する	・ パッサージュづくりに参加する	・ NPO、事業者が空地に店舗を開設し、既存小売業者は店舗改装や商店街活動を活発化する	・ 全体構想をつくる ・ 回遊する道路を整備する
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
A-03	花壇の整備・創出・管理		海楽2丁目4前	良い	● 季節の植物を使ってまち（通り）が明るくなる ● 道（通り、まち）の顔になる ● 市民が管理することで愛着が持てる	市民による沿道景観（街路景観）の形成	● 行政の手が届かない街路の管理を沿道の市民が植物を植える。 ● 沿道がきれいになればゴミを捨てにくくなる ● やっている人を見せて活動を盛り上げる	・ 作業への参加	・ 資材の提供 ・ メンテナンスの協力 ・ 専門知識の提供	・ 場所・資金（資材）の提供 ・ 成功例の表彰 ・ 参考事例の紹介 ・ 広報
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
A-04	ポケットパーク的辻空間		猫実3丁目16	良い	● 交差点で人の目が集まりやすい場所の小さな空間に、植栽があり、道行く人が楽しめるようになっている。	辻空間の演出を広める	● 新浦安地区で定められているガイドライン「辻空間の演出」を他地域にも広める ● 周辺の人も利用できる工夫があってもよい	・ 辻空間をほめる。広める ・ 今あるまちの中で可能性を探る	・ 辻空間の演出に努める ・ 今あるまちの中で可能性を探る	・ ガイドラインの作成、修正
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
A-05	広い歩道		美浜1丁目交差点	良い	● 車道と歩道が広いと開放感があり、空もよく見えてまちが明るい。	自転車専用道に矢印の表記を	● 自転車がたがいにぶつからないように、道路面に矢印をつける	・ マナーを守る	・ 自転車振興会と行政の共催でマナー教室を開催する	・ 早急に自転車の方向矢印をつける ・ 市民に広報する

うらやす景観資源 提案シートまとめ

No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
A-06	やなぎ通りの木		猫実3丁目16前	改善	- やなぎ通りの木がないのは残念。 - 植生調査の上、土壌、風向きなど考慮の上、樹種を再検討してほしい。	やなぎ通りの樹種を再検討する	- やなぎが育っていない - 植生調査の上、土壌、風向き等考慮の上、樹種を再検討してほしい - 名称変更の必要が生じれば、市民公募で「やなぎ通り」の新名称を	- 住民（隣接の自治会）と共同で植生調査の実施 - 清掃作戦への協力	土壌、風土、風向きにあった樹木とコストの双方から行政・市民に提案を（企業としてのCSRを）	- 市民、造園業者等に公募でふさわしい樹木の提案を募る - 広く市民の声を広聴してほしい
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
A-07	ゆったり歩けるシンボルロードの歩道		美浜1丁目	改善	自転車道と歩道の区分が不明確。	ゆったり歩ける歩道を全市に展開する	- 自転車道と歩道の区分を明確にする - 自転車の左側通行を徹底する - 上記を一定以上の幅員がある市道に全面展開する	自転車に乗るときは左側通行を意識する	自転車振興会と市の共催によるマナー教室を開催する	- 自転車道と歩道の区分表示を明確にする - 左側通行の標識表示 - 運転免許講習時に自転車の乗り方講習を
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
A-08	シンボルロード沿い店舗の派手な看板		日の出4丁目1－8	改善	- 景観条例以前の建築のため、色の指導がなかった。 - 塗り替え時に当初の色であれば認められたのでくすんでいたのが派手になって見苦しい。	看板の色彩の改善を	景観条例以前の建築物であっても修繕時に周囲と調和した色彩に指導できるように景観条例を変えていく	景観に対する意識を持ち、まちを住みやすくする	時代の変化を感じ取って、条例よりも先に景観を考え、市民のために協力する	景観条例を改善する
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
A-09	浦安駅前のバラバラな看板		浦安駅入り口	改善	- 看板の色彩、形状、位置、サイズに統一がない。 - 街の顔（他の場所との違い）として今ひとつ。	多様な中にも統一したルールを	1) 浦安駅前をどうしたいのか、目標を決める。 2) 目標に向かってやること（活動、制度）を決めて動く	- 目標を出す - 専門家との意見交換 - 行政の活動にコメントする - 事業者の活動を見守る	現状を報告する	- 客観的な評価する - 制度をつくる - 広報する - よい事業者を表彰する
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
A-10	バラバラに感じる生け垣		住宅地の通り景観	改善	以前の住宅地はそうでなかったが、最近は何となく生け垣がそろっていない感じがする	何軒かで集まって緑化する	- 近隣の数軒で集まって緑化する。 - 同じ樹種、大きさでなくてもよい。 - 多様性と統一感のバランスがでるように。	- みんなで緑化を楽しむ。 - 緑化についての話をする。	市民に進める、助言する。	- 共同緑化の助成制度を検討する - ガイドラインを検討する

うらやす景観資源 提案シートまとめ

うらやす景観資源 提案シートまとめ					グループ	B	軸/面	軸	テーマ	境川
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
B-01	境川の活動景観		富岡地区	良い	● 親水性を感じさせる活動景観	川を活用した活動が見えるようにする	● 水面が見える緑道づくり	・緑道沿い花壇などの維持管理	・護岸堤防のかさ上げ	・県と市の連携
No.			場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
B-02	メタセコイアの並木		入船地区	良い	● 統一感・季節感を感じさせる豊かな緑	美しい街路樹の維持管理	● 美しい街路樹の日常的な維持管理	・緑のボランティアなどによる生垣内の雑草取りなど	・市民ボランティアの限界を超える高木の剪定などはお金を出し合って業者に任せる	・「木を植えておしまい」でなくその後の維持管理まで考えた緑化計画を
No.			場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
B-03	緑道の花壇		高洲1丁目地区	良い	● 行政とボランティアとのコラボレーションによる花壇の管理	花いっぱいまちづくりの推進	● 「高洲なかよし会」のような活動を全市の街路樹や植栽帯に花いっぴい運動に展開	・個人、自治会、商店会などによるボランティア活動	・花苗などの寄付	・花苗の提供 ・景観フォーラムの場で感謝状の授与（5年以上の活動）
No.			場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
B-04	抜ける景観		明海橋	良い	● 浦安のシンボル境川の堤防、緑道、沿川の計画的に建てられた建物群が一体と ● なった抜ける景観 ● ・他都市では見られない浦安の顔	親水護岸への再整備	● 無機質なコンクリート護岸を自然素材（石、土手）でより美しく ● ・釣り場のテラスに降り易く	・清掃活動	・	・県（治水）と市（親水）の連携 ・市は口も出し、金も出す
No.			場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
B-05	河口部と海辺の結節点		高洲海浜公園	良い	● 川と海は浦安の貴重な財産 ● 結節点にある高洲海浜公園は両方の眺望に最適 ● 水辺の景観モデル地区 ● 散歩や日の出、花火の鑑賞地としても最適	景観重要地区の更なる整備	● 市民の憩いの場としての更なる整備 ● 河口部船溜まり周辺と一体となった再整備	・パークゴルフ場やスポーツ広場の有効活用 ・花壇緑地などの維持管理	・飲食喫茶を含む休息施設などの民間経営又は公設民営施設の経営	・民間経営施設の導入

うらやす景観資源 提案シートまとめ

No.	タイトル	写真・メモ	場所		選定理由	提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
B-06	貧弱な街路樹と川面が見えない護岸		若洲公園付近	改善	・浦安らしい景観の一つである係留された船や鯉のぼりが見えない ・川側歩道の貧弱な街路樹及び生垣	川面が見える遊歩道の整備	・護岸の天端を遊歩道化する ・護岸と一体化し、川側歩道の街路樹及び生垣を再整備する	・生垣内の雑草取りなど	・県と市の連携による遊歩道整備	・道路管理部門とみどり公園管理部門の連携による川面が見える遊歩道整備
No.	タイトル	写真・メモ	場所		選定理由	提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
B-07	管理者がいなくなった花壇		今川地区0	改善	・かつて「今川花の会」が自主管理していた花壇が震災復興後は管理者がおらず草ぼうぼう状態 ・「今川花の会」が要望していた水栓が設置されなかった ・協働によるまち育てのモデル地区に行政側から水がさされた	協働によるまち育てを増進させる	・やる気のある住民の提案に行政が真摯に対応する	・ボランティア団体のメンバーを増やし、後継者も育てる	・	・県市の連携を密に ・市内部の横の連携（みどり公園課、協働推進課、都市計画課など） ・公共事業（震災復興事業）は協働による景観まちづくりのチャンス
No.	タイトル	写真・メモ	場所		選定理由	提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
B-08	気軽に立ち入れない護岸		入船、日の出、明海、高洲地区	改善	・親水性を高めうる可能性がある場所を安全のためという理由だけで立入禁止にしている ・実際には立ち入って釣りやカヌーを楽しんでいる市民がいる	水辺を楽しむ景観づくり	・水辺に親しみ、楽しむ具体的アイデアの提案 ・水辺に親しみ、楽しめる護岸の再整備	・水辺でのイベントなどアイデアの提案 ・清掃活動など市民が出来る維持管理活動	・市民、地元市の要望を取り入れた再整備事業の実施	・市民の要望を取り入れ、口も出すが金も出すスタンスで県との協議を
No.	タイトル	写真・メモ	場所		選定理由	提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
B-09	無機質なコンクリート護岸		美浜、入船、日の出、富岡、今川、高洲地区	改善	・治水対策のみの観点から造られた無機質な堤防を親水性のあるものにした	護岸の魅力向上	・無機質なコンクリート護岸を自然素材（石、土手）などで再整備 ・釣り場などへ安全かつ気楽に降りられる階段の設置	・川沿いの活動（釣り大会、カヌー遊び）などの提案 ・清掃活動	・市民及び市からの提案を受けた親水護岸再整備	・県と市の連携 ・市は口も出し、金も出す ・
No.	タイトル	写真・メモ	場所		選定理由	提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
B-10	管理されていない花壇		高洲1丁目付近	改善	・花壇を想定して造られた堤防が実際は雑草が生え放題	企画段階からの市民参加を	・持管理の仕方まで詰めた花壇の設置	・市民からの企画提案 ・維持管理の責任体制（付近住民、自治会、生徒会など）構築	・	・県と市の携協議 ・企画段階からの市民参加システムの構築 ・ボランティア活動への援助

うらやす景観資源 提案シートまとめ					グループ	C	軸/面	面	テーマ	元町 堀江・猫実	
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容		市民	事業者	行政
C-06	境川の活用		境川（元町エリア内）	改善	- 浦安の原点である - やなぎ通り・シンボル通りと並んで浦安の基軸となるものであり、空間整備と機能活性化が不可欠	境川の景観の見直し	- 護岸の親水性の強化 - 川沿いに憩いの場を整備する - 川を活用するイベントの展開	個人として、グループとして（自治会等の集合体として）活用アイデアや方策を提案する	- おさんぽバス方式の「おさんぽ船」を開発運行する - 護岸エリアに商業系、公益系の施設を展開する（イベント型⇒常設型）	- 諸種の計画において境川筋の中心軸性を展開する - 市民大学や協働提案事業等を活用し、アイデアづくりや事業化策づくりを常態化する	
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容		市民	事業者	行政
C-07	歴史保存を図ろう		堀江地区2項道路	改善	- 漁師町の時代の面影を残す空間 - ヒューマンスケールの路地空間 - 暖かみを取り戻せる機会も時間も残り少ない	人間くさい路地空間を取り戻す	- 直線的構成の多い現代都市空間にあって、自然に形成されたヒューマンスケールの空間が消滅の危機 - 歩いているだけで、温かさや楽しさのある道並みが欲しい	- 路地が表になるように気配りに努力を払う - 花や果木など柔らかさや美しさの演出に努める - 世相など日常管理に努める	日常の維持管理に統一性と調和性を心掛ける	維持管理に地域特性（地域遺伝子）への配慮を大事にする	
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容		市民	事業者	行政
C-08	空地の活用		猫実、堀江地区に点在する空地	改善	- 稠密性から開放される利点（日照、通風性）はあるが、空虚感、空疎性による一体性、連帯性の欠落化への配慮が重くなる - 跡地に無配慮・無計画な住宅など建築物が増え、歴史的、伝統性の破壊が進み引き返せなくなる	空地の積極活用	空地のロケーションに応じて、各世代に機能性の高い施設設備を提供する				
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容		市民	事業者	行政
C-09	地域遺伝子をいかすのが景観		フラワー通りのレンタルボックス	改善	道並み、街並みの破壊は一点から始まる	フラワー通り地区計画の策定	- 通り全体に網をかける - 用途制限（環境破壊を避ける） - デザインコードの制定（環境を育成する）	- 市民（住民）がまちづくりへの意識改革を図る - 歴史の中で誇りにできる地域遺伝子を探し育てる	不在地主、投資家等も計画策定に前向きに関わる	上位計画の策定・改訂に地域の参画を積極的に図る（協働事業型展開）	
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容		市民	事業者	行政
C-10	路地の景観の改善		堀江3丁目路地（2項道路）	改善	人の道としての快適性の実現	人の往来と交流を主役にする	- 路地の床材、壁材を統一する - 花などの景観要素を活用する	まちづくりデザインコードの策定	デザインコード策定を協働する	- まちづくりコードの整備 - 整備実施への助成、補助協力	

うらやす景観資源 提案シートまとめ

うらやす景観資源 提案シートまとめ					グループ	C	軸/面	面	テーマ	元町 堀江・猫実		
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容		市民	事業者	行政	
C-01	歴史を感じさせる景観		清瀧神社	良い	- 浦安の歴史を残す - 稀少な静謐な緑が残る - 市民の交流の場（祭り・祝い）	元町と中・新町の市民交流の場づくりの推進	- 祭り・祝いなどの活動を媒体とする交流の機会を増やす - 大きな緑のスペースの良さを活かす		・歴史的・伝統的な暮らしを日常に活かす	・空地・駐車スペースとの複合開発による交流の場の整備	・法的環境の整備	・整備費等の支援
No.			場所	選定理由		提案テーマ	提案内容		市民	事業者	行政	
C-02	古い民家（店舗等）の改修・保存		つくだ煮 西敏商店	良い	- 道路面のファサードの整備で - 伝統を活かした街並ができる	街並における伝統的景観の保全策	- 単体の改善により街並が改善される - 景観評価策として道並み、道並みの景観づくりに貢献するものへの支援、助成を行う		・一括、全体建替える場合でも、道並み、街並への配慮をする	・設計者も施工者も古さ（伝統性）への配慮（形態や材料の再利用、保存）を図る	・道並み街並の保存・再生への支援・助成を行う	
No.			場所	選定理由		提案テーマ	提案内容		市民	事業者	行政	
C-03	歴史が刻まれている景観		境川西水門	良い	- 浦安のまちづくりの転換期を示す（漁港からの転換、東西線の開通により連担都市化） - 境川の西の起点(内水面化への)を示す	現代都市浦安への記念的空間の保存	- 第1次産業の象徴である漁港を閉鎖し第3次産業都市への転換を示す - 大都市東京と東京湾沿岸域との連担性を実現させることになった交通手段の象徴を示す - リンド記念碑との一体性を活かす		・誕生記念樹木に対するのと同様に、記念碑的空間を敬愛する	・まち歩きなどの市民活動に積極的に組み入れる	・小学校の社会科学習コースに入れる	
No.			場所	選定理由		提案テーマ	提案内容		市民	事業者	行政	
C-04	空地の活用例		猫実・堀江地区に点在する空地	良い	原価のかかっている空地は利用することで価値が出る		- 乳幼児から高齢者、弱者にいたる全世代に役立つ場づくり - 対象者（層）によってオープン型やクローズ型まで種々の対応とする		・利用の主役となる住民の合意形成に努める	・施設（空間）の運営に努める	・ミニ祭りなどイベント事業者の協力を得る	・きめ細かい意向調査の実施
No.			場所	選定理由		提案テーマ	提案内容		市民	事業者	行政	
C-05	元町の再生への取り組み		堀江地区の再整備住宅	良い	- 住民の交流が主役の地域遺伝子が活かされている - 住宅地区の景観として波及させている	路地の良さを活かす景観	- 建築基準法の制約をクリアし且つ路地空間の親密性を活かしている - 連続することにより景観の向上が図れる（街並みの形成が大切である		・住まうことの良さを獲得するためには地域の合意形成が基本条件	・設計者、施工者はプロポーザーとして良いものづくりに前向きに関わる	・規制より育成・誘導を図る	・助成、支援等まちづくりへの関わりを強化する

うらやす景観資源 提案シートまとめ

No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
D-01	生垣の 連なり		美浜 3 丁目 2 3	良い	- フロントヤードが統一されている - 緑の潤いを感じる - カイズカイブキの生垣の連なりが美しい	美しい垣根の連なりを残す	- 住民の生垣の重要性につての意識を高める - 生垣を残す住民協定を結ぶ - 何軒かで共同管理 - 一定の基準を設けて、生垣管理助成	- 地区の植栽ルールづくり - 植栽管理効果を啓発	- 植栽共同管理提案と実施 - 植栽管理セミナー	- 管理助成システムの検討 - 例：三軒協定など
No.			場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
D-02	お洒落な 共同住宅		今川 2 丁目 5	良い	- 住めればよいの共同住宅から一步踏み出した住みとなる共同住宅 - 周辺の戸建景観に配慮し、緑も備えた共同住宅 - 住宅地の中に共同住宅が、溶け込んでいる	美観を備えた共同住宅の推進	- 雑誌などで取り上げる共同住宅モデルとして表彰する - 景観評価が賃料アップにつながる	周りが評価し、大家に推進してもらう仕組みづくり	- 敷地規模に合わせた共同住宅モデルプラン提示 - 良い景観の方が賃料は長く高いことを大家説明	共同住宅景観表彰制度
No.			場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
D-03	堤防跡と 松林		今川地区堤防跡と松林の緑地	良い	- 第 1 期の埋立ての堤防と松林が残り街並みと調和 - 松林は大きくなりすぎず管理されている - 歴史や海浜地域性を感じるので残していきたい	堤防跡と松林を歴史景観指定に	- 歴史的構造物として残す指定を検討 - 壊れた箇所は修繕し、立ち入禁止をなくす - 由来の説明看板の設置や案内書の作成	ゴミ拾いや草花を植える美化活動	美化活動の協賛	- 由来の説明看板の設置 - 保存指定
No.			場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
D-04	受電ポールでスッ キリ		今川 4 丁目 8	良い	- 引き込み線をまとめているので建物外観がスッキリ - 美観を演出できる可能性を感じさせる	受電ポール設置促進	- 電線・電話・CATV の線を集約し、スマートな構造美観を演出 - 建物周りがスッキリし部分地下埋設を誘発	新築・改築時に設置	- 隣接する宅地 4 軒の受電共同化 - 共同住宅に受電ポール設置	受電共同化に助成
No.			場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
D-05	当初の 自治会建 築ルール 看板		公園等	良い	- 当初の自治会築ルール看板が撤去されていないことに敬意 - 今川自治会の当時の思いが表現されている	今川地区の自主ルールづくり	- 守れない自主ルールの看板を撤去 - 住人、新住人が同じコンセンサスを持つ - 常識的な建築ルールを住民の合意形成で作成	自治会で地区の美観を守るための自主ルールを設ける	ルール作りで地区外地権者向けを協力	住民のルールの合意形成のサポート

うらやす景観資源 提案シートまとめ

No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
D-06	危険な歩道の今川橋		今川橋	改善	● 朝夕の自転車・歩行者などで狭い歩道が混雑 ● 交通事故が起きないのが不思議、早急な解決策が必要	今川橋の歩行者専用スペースの拡張	● 既存の橋の歩道部分を拡幅して、歩行者と自転車の専用部分を設ける ● 南側に両脇の緑道をつなぐ歩道橋を架ける	・迂回する ・気をつけて通行	・歩道の通行整理の協力	・橋の歩道の拡幅 ・南側に歩道橋を架ける
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
D-07	交通量が少ない無機質な道路		今川地区 8m 道路	改善	● 交通量が少ないのに幅員が広く、歩道もないので、無機質な空間 ● 道路と宅地の領域が明確すぎる	歩きたくなる街路づくり	● 両側に舗装の色彩を変えてイメージ歩道 ● 街路樹を設けて緑の潤いを演出	・道路沿いの塀並みづくり ・各道路は街路に合わせて景観ルールづくり	・道路沿いの景観づくり（駐車場等）	・地域の意見を盛り込み街路づくり
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
D-08	共同住宅の派手な外壁		今川地区共同住宅	改善	● 目立たせることで美観を損ね景観が悪くなっている ● 色彩が周辺の建物との調和がされていない ● 若い人は派手な色彩を好むと思うのかアパートに多い	調和された色彩の共同住宅	● 共同住宅の大家に地域や住民ルールに対する啓発活動 ● 居住者への P R を色彩以外の手段を教える ● 地域の統一感への意識を啓発する	・色彩塗装セミナーの開催 ・地域の色彩コードを設ける	・色彩セミナー開催	・再塗装時に条例の色彩コード適合
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
D-09	駐車場化で緑が無い		今川地区共同住宅	改善	● ワンルームアパートは街全体の価値を落とす ● 宅地の道路沿いに駐車場を多く設けることにより植栽スペースがなくなる ● 緑の潤いがほしい	道路沿い植栽の確保	● 景観の意識を高めて緑化意識を高める ● 駐車場と建物の間や駐車場緑化や壁面緑化 ● 道路沿いに植栽義務化	・植栽管理と緑に対する評価	・植栽管理 ・地権者に優良アパートセミナー	・道路沿い緑化基準を設ける ・道路沿いの植栽助成
No.	タイトル	写真・メモ	場所	選定理由		提案テーマ	提案内容	市民	事業者	行政
D-10	空地の管理		美浜 3 丁目空地	改善	● 雑草対策のブルーシートが美観を損なう ● 周りに悪影響を与えている ● 地域の資産価値を下げてしまう	空地の優良管理を促進	● シートではない除草対策 ● 不動産屋や地域で管理委託を受けて維持管理 ● 草花畑などの一時利用	・地域で空地を把握して管理体制づくり	・地権者から土地販売委託に合わせて空地管理請負	・空地管理の啓発

**2015
景観
まちづくり
大学生向
講座**

浦安市協働事業 浦安景観まちづくり実践講座

住環境の景観を探す

中町・新町地域の計画的に開発された住宅地において、個別に建設された戸建住宅地、低層集合住宅、高層集合住宅、公的開発と民間開発などそれぞれの違いを探します。



9月27日(日曜日)

**まち歩き 10時～12時半
ワークショップ**

13時半～16時半

【月日】9月27日(日)10時～16時半

【場所】美浜公民館第1会議室

【対象】市内在住・在学の大学生、先着16名

【費用】無料

【申込】氏名・学年・性別・住所・電話番号をご記入のうえ、Eメールで、うらやす景観まちづくりフォーラム(浅川)へ

申し込み期限 9月25日

まち歩きコース(予定) 美浜4丁目～美浜西エステート～エアレジデンス新浦安～入船北エステート～さつき苑～三番瀬～碧浜～シーガーデン新浦安～シ・アイルズなど ※一部変更になる場合があります。

■申込み・問合せ うらやす景観まちづくりフォーラム(UKMF)

TEL 090-1764-9868(浅川) FAX 047-712-6862 E-mail asakawa@comdesign.jp

うらやす景観まちづくりフォーラム ・ 浦安市都市計画課

2015 年度 浦安市協働提案事業 「浦安景観まちづくり実践講座」 大学生向講座「住環境の景観を探す」開催報告

9 月 27 日（日曜日）2015 年度 浦安市協働提案事業「浦安景観まちづくり実践講座」大学生向「住環境の景観を探す」が開催された。

残念ながら申し込みが 4 名で、当日参加されたのは 3 名でしたが、2 名は浦安の大学に通う 3 年生で、戸建住宅地の街並みを勉強したい、もう 1 名は、住宅地の課題を探ることが目的で参加されました。もう 1 名は専門学校に通い建築とまちづくりを学んでいる学生さんで、皆さん目的意識が高かったです。

午前中は、中町・新町地域の計画的に開発された戸建住宅地、低層集合住宅、中高層集合住宅、超高層集合住宅地まで、それぞれの住環境の違いを探しました。



■まち歩きの結果

最初に美浜 4 丁目と美浜 3 丁目の戸建て地区では、駐車場の設け方により街並みの緑の見え方の違いや宅内電柱の震災時の問題、美浜西エステートでは、駐車場の車の見え方やモニュメントについて、エアレジデンス新浦安では公開空地なのに外部の人があまり利用していない。入船東エステートでは、大規模修繕による外壁の色彩改修について、入船北エステートでは、集合住宅と戸建感覚の住環境の良さを感じる。入船 4 丁目の用途混在地区を南に進み、碧浜に、ここではシマトネリコの大木を当初から植栽している緑の多い街並みを実感する。シーガーデン新浦安では、最近のクローズマンションの実態と、道路沿いに高層建物が建ち並ぶ景観を

実感する。最後にジ・アイルズの最近の街区からリゾート風の街並みを見て、バスで、新浦安駅まで戻りました。



■ワークショップ

午後は、フォーラムの浅川が午前中歩いた戸建てから超高層までの浦安の住環境の概要について説明し、特に碧浜については開発事業者のコンセプトシートや当初のモデルプランと内観写真を用いて説明しました。その後、まち歩きで撮影した写真をプリントしたものを見ながら、良い景観と改善したい景観の写真を選び、コメントを書き込んでもらいました。街並み、建物、緑その他に大きく分類し、3 人が選んだ景観について説明してもらいました。学生は、ポジティブな見方をしているのか、改善したい景観より良い景観を評価する方が多かったです。

学生のコメントをいくつか紹介すると、エアレジデンス新浦安の公開空地に水が流れて大変良いガーデンができているのに、市民の方がくつろいでいる姿もなく、もったいない空間になっている。交差点の角部分が公園（ポケットパークなど）になっていて、休んだりできるのでよかった。宅地内に電柱があるのは良いが、震災時にトラブルが多く発生したと聞いた。やはり、電線を地下に埋めればよい。入船北エステートは、戸建て感覚ながら集合住宅の良いところ、戸建ての良いところをうまく活かしていてよかった。大規模開発で画一的な姿を想像していたが、開発会社のカラーが出ていて、様々なニーズに応えられるまちづくりになっていた。など

■まち広場通信発行リスト

- 2015 年 5 月 20 日 浦安景観まちづくり実践講座第 1 回開催報告
 2015 年 8 月 22 日 浦安景観まちづくり実践講座第 2 回開催報告
 2015 年 10 月 8 日 浦安景観まちづくり実践講座第 3 回開催報告
 2015 年 10 月 21 日 浦安景観まちづくり実践講座第大学生向開催報告
 2015 年 1 月 20 日 浦安景観まちづくり実践講座第 4 回開催報告
 2015 年 2 月 10 日 浦安景観まちづくり実践講座第 5 回開催報告
 2016 年 3 月 30 日 浦安景観まちづくり実践講座第 7 回開催報告

「うら景まち広場」ホームページ制作・更新

■総アクセス数 2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 30 日

	総アクセス数	ページアクセス	アクセス人数
総 数	56,925	10,653	6,662
一日平均	156	29.2	18.2

うらやす景観まちづくり 情報サイト



浦安市協働提案事業・浦安景観まちづくり啓発事業により、市民に対して、景観まちづくりの取り組みを蓄積、発信、共有することを目的に制作しています。

うら景まち広場 検索

景観まちづくり講座 2015 景観まちづくり講座案内 2014 景観まちづくり講座報告	浦安景観資源 視点場・史跡・道路・公園 ・水辺・建築	うらやす景観通信 都市計画課と景観フォーラムの 協働で、景観まちづくり情報制作
今週のうら景 最近の浦安の情景写真を紹介	浦安イベント情報・NEWS 浦安のまちづくりイベントや ニュースを紹介	景観まちづくり情報 景観まちづくりイベントや他市 の景観まちづくりニュース紹介
浦安市の取り組み・計画	景観まちづくりお勧めサイト	景観まちづくり参考図書



浦安の美しい景観写真を募集中

撮影地、撮影日時、撮影者名を記入の上画像を mail で送ってください。

ホームページに紹介し、景観資源リストに追加するか検討します。

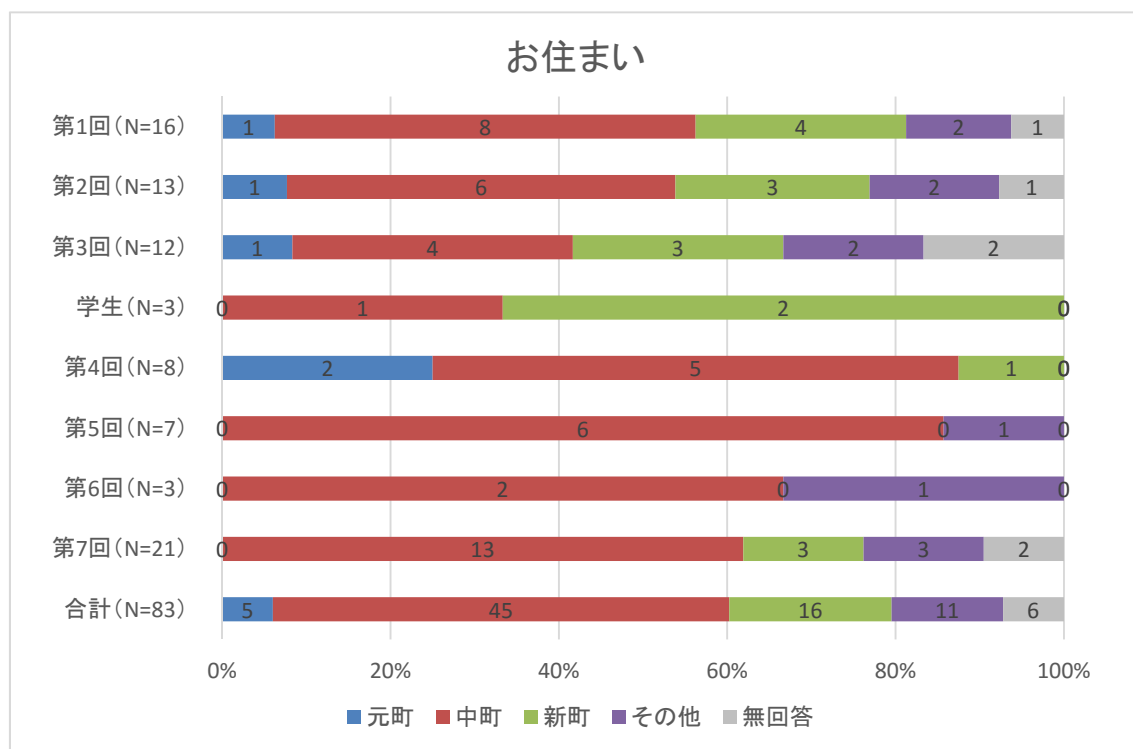
Mail : asakawa@comdesign.jp うらやす景観まちづくりフォーラム（浅川）

講座参加者アンケート

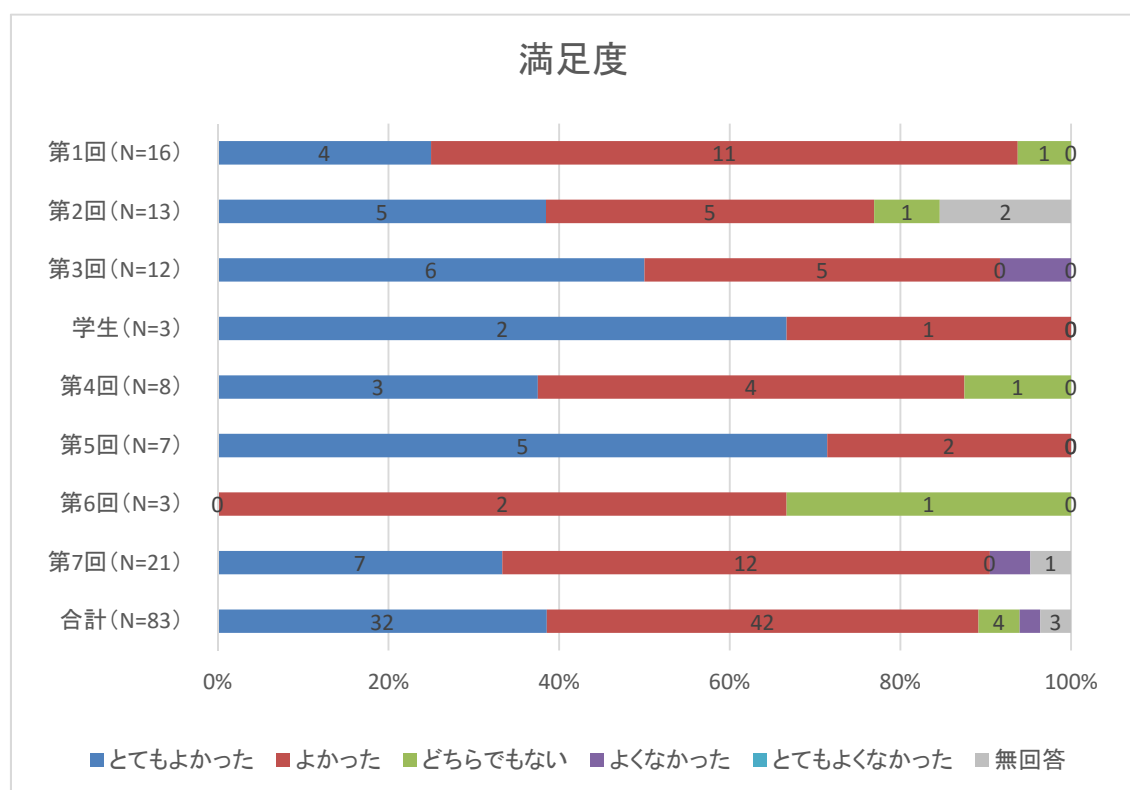
連続講座の評価を目的として、各回の参加者に対して、講座の満足度、講座を知ったきっかけなどを訪ねた。回答数など概要は以下の通りである。

2015 年度 連続講座アンケート結果のまとめ

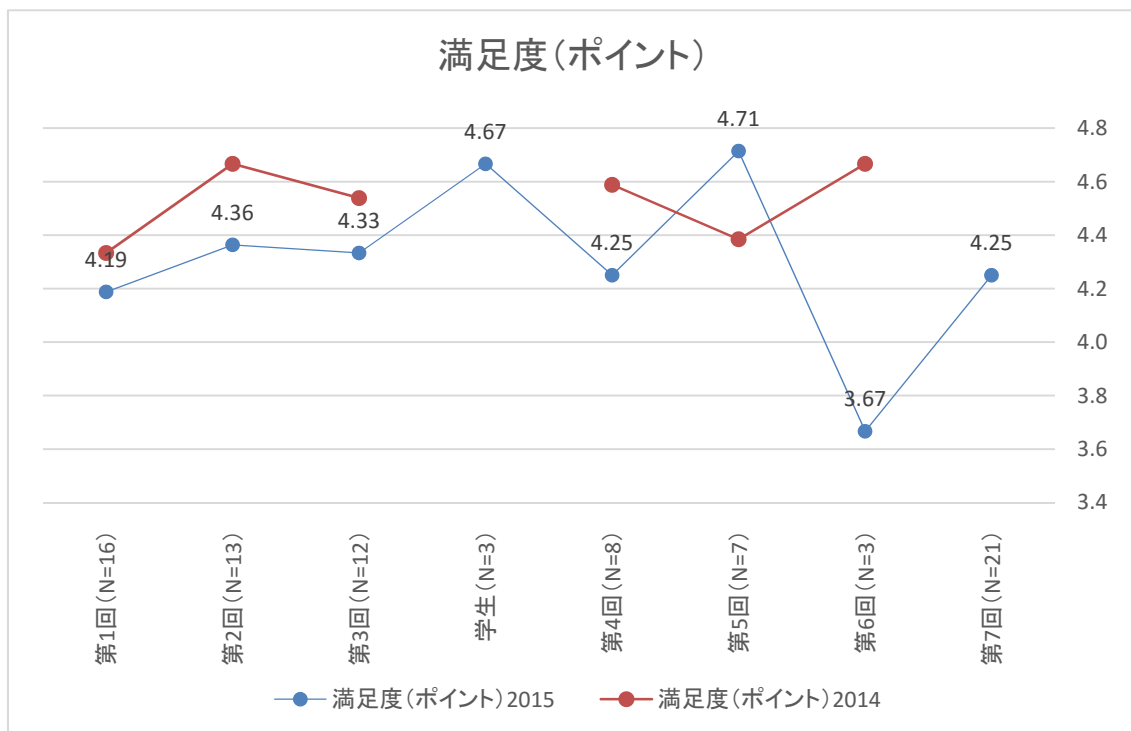
■第1問 参加者の住まい



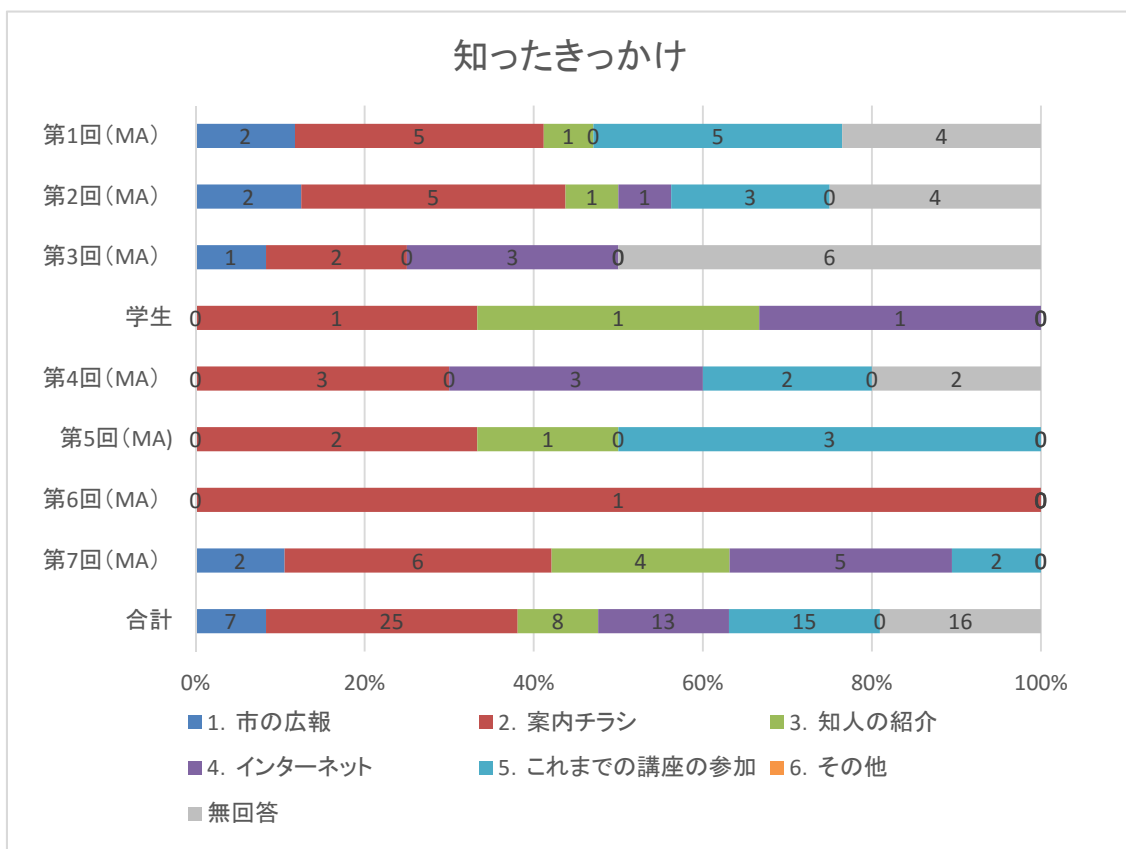
■第2問 参加の満足度



参加の満足度（ポイント）



■第3問 参加のきっかけ



■各回の自由回答

第1回 問2：まちあるき感想
世代を超えて多くの方が、浦安の景観に興味を持っていることが分かりました。
景観をよくするための条例のようなものを作る(どの程度の範囲に作れるか)
サークル活動的なキックオフで良かった。行政のことになるとわからない。
「景観」と「景観まちづくり」の定義・経緯を丁寧に深く解説頂き、何となく思い込んでいたものとの差を再認識できました。特に発想として(1)都市計画による居住環境からの発想と(2)地域振興による地域再生からの発想をよく理解できました。
参加者が多岐にわたっており、多くの考えを聞くことができて良かった。
他己紹介、おもしろかったです。
住民の知見の重要性
景観の定義・意味づけ、勉強になりました。
景観まちづくりに対する考え方、浦安市の取り組み、一般の方(専門家ではない)の考え方
小林会長報告の考察に、今までにない視点があって印象的だった。他己紹介もお互いを知る手法としてよかった。
取り組みに真剣さを感じ、レベルの高い人の集まりと思いました。素晴らしい集団を是非まちづくりに活かして欲しいです。時間はお金と同じですから。暇で参加している人は誰もいないと実感しました。
男性が多く、女性が少ないのにまずびっくり。年齢層が高い。
景観という定義は難しいと感じましたが、佐久間先生の説明でイメージが掴めました。昨年の連続講座の流れについて画面で見られたので参考になりました。
他己紹介、やったことがなく、戸惑いを感じました。景観まちづくりとは関係のないことだと思うが、「こんな方法があったのか？」とおどろいた。

第1回 問3：講座感想
「景観」という言葉についての認識について差があると感じました。
市民に近い景観をよくする方法が必要です(自治会)
少し難しかった(内容)。
「他己紹介シート」の企画は大変参考になりました。明日から一歩でもゆっくりやさしく地域をよくしていく活動につなげたいと。人づくりが財産です。
景観の定義に多くの時間が使われた。
行政の取り組みの位置づけ(重要性)(真剣度)協働事業の位置づけ+アピール度不足 行政のリーダーシップの不足?
景観まちづくり、私有財産と公共とのバランスが難しい。市民の意識が重要と思いました。
WSのやり方(場・空気のつくり方)
元町・中町・新町という区分けは、ある意味で市民の気持ちが分かれているのではと気がかりです。
行政は「餅を絵に描く役」という印象を受ける。私権が絡むまちづくりへの推進力担保が必要であり、個人や任意の団体では担えない役割を行政に期待しています。
地域とのコミュニケーションをはかっていくとのことで、まちあるきに足が弱いからどうしようかと迷ったのですが、参加してみたいと思いました。
景観どころより、景観自体の定義(?)など知ることができて少し安心しました。

第 1 回 問 4 : 自由
この会で話し合ったことを市政に反映できたらいいと思います。
「まち歩き」をやりながら新しい景観を発想してゆくべき。
講座の後の予定がありますので、時間が来たら失礼することがあります。よろしくお願いします。
参加配布資料「うらやす景観デザインマニュアル」を頂き(1月18日)早速在住の佐倉市の建築住宅課、都市計画課へ「景観形成基準」p12～13の写しを提供しましたところ、景観計画(3年目)の見直しの資料として大変参考になったと好評でした。佐倉深井野地区 S1S2 建築協定選挙委員会の委員にも配布して「知の共有」ができてきています。今後ともこの講座で学んだことを私の地区のまちづくりや、市への情報交流の一助としていくつもりです。よろしくご指導下さい。
街歩き楽しみにしています。
まち歩きを通じ、浦安の良い点、問題点を認識し、行政へのアドバイスができれば良いと思っています。
この講座で勉強させていただくとともに、自分も一部として何ができるか考えていきたいと思っています。
時間が少なくてうまく他己紹介できなくて申し訳ありません。
浦安は元町・中町・新町とゾーニングされていますが、単なる区分けでなく、まさに開発による違いにより分けられます。生活の営みの歴史を念頭に入れながら、景観づくりの勉強をしていきたいと思っています。入会して良かったと思います。

第2回 問2:まちあるき感想
標識などで見辛いものがあつた。歩道が緑でいっぱい、美しいということが改めて分かった。お店の建物の色合いなど、参加者の皆さんの景観へのこだわりが印象的だった。
話題が共通している仲間と話し合いができた。
改めて街を見ると、知らなかったモニュメントがたくさんあり、解説していただいて理解が深まった。皆さんの雑談も参考になる点が多々あつた。
午前中2時間(約3km強)でちょうど良い距離で、参加者(10名)、2班で知識や情報共有しながら、楽しく、知らないことや暗黙知など吸収できて参考になりました。例として商業施設の看板(外壁)の表示(赤と黄)や植栽のない、玄関口のスロープが危険など改善すべきなど。午後からの写真にカードをつけて振り返るワークショップの企画も非常に良かった。自分の地域(千代田地区まつづくり協議会)コミュニティづくりにも採用してみたいと感じた。自分の思い込みではなく、写真による見える化と共有化に有効である。
道路、街路ともによく整備されている。街路灯がLEDに交換されて全ての市内が明るくなった。
電柱の地中化で、街がすっきり。柳通なのに、柳が少ない。自転車と歩行者の区分が不十分。
改めて新浦の街がよくできていることが認識できた同時に、今後どのようにしてこの財産を守り育てていくのが課題。
柳通りとシンボルロードでは歴史も違うため大きな違いを感じた。柳通りの道路と周辺環境の整備が必要と思われた。
悪い部分をさがそうとする視点。もう少し冷静に自分のまちを見ても良いのでは?悪い→改善、良い→さらにのびず。思い込みや知識量、新しい気持ちで見た方がよいのでは?
やなぎ通りを2～3日に1回は往復しますが、ゆっくり見ることがなかったのですが、今日歩いてみて街路樹が少ないことにびっくり、と植木があっても雑草がのびていて、雑草は貧乏っぽい。
まだまだ自分の住む町で知らないことを知られること。浦安100年のモニュメント(高さ19.89m、1989年を絡めて。
シンボルロードを歩いてみて、外国の町を歩いているように感じました。道路が広く、舗道もゆったりしていました。しかし人の行き来が少なく、賑わいを感じなかったのが残念でした。

第2回 問3:講座感想
シンボルロードの歴史がよく分かった。柳通りの「柳」の対策が印象的だった。椰子の木。
中山さんの話題の深さに感銘を受けました。
中山さんのお話で新堀ロードの詳細がよくわかりました。
「それココ」(CM、ストーリー性)のお話が聞けて参考になりました。中山様のミニ講演は非常に参考になりました(20~25年前からの構想など)。質疑応答も分かりやすかった。
シンボルロードの歴史がよく分かりました。
市民と市(当局)の距離感にいかに貢献できるかが自分としての課題に感じる。
特になし。
自分で感じた良し悪しが他の方と同じだったことにホッとしました。シンボルロードの歴史を中山さんからお聞きして、改めて大事な事業であったことを知りました。ありがとうございました。

第2回 問4:自由
若者が集まりやすい自由なまちづくりを目指して欲しいです。
特にありません。
今回、昼食を取りながら参加者の皆さんとお話をする時間があって良かった。
今後は地区単位の課題を出し合って小グループでワークショップで改善提案など出し合って、市への改善提案や地区で緑地、建築のガイドライン化につなげていけるとよいと思う。
公共の建物にも表示が必要では？(公民館・図書館は市民以外の移用も考えられる。
看板に統一性がない。「浦安」の名称看板表示看板がない。もっと浦安を地域内にも表示する必要がある。
357 沿いの雑草・雑木の整理を。シルバー人材センターにお願いしてもっとまめに度々整理して、いつもきれいに！シルバー人材センターに登録していらっしゃる方々は仕事を求めています。
今日は暑くて大変な日でしたが、やはり自分の目を見て、中山さん・井口さんの話が聞けて、充実した一日でした。スケジュール的にはくらのコース(半分)で良いと思います。

第3回 問2:まちあるき感想
水辺の美しい風景を改めて見れてよかったです。
境川で親子で釣りをしていたこと。
上流から下流の護岸の違いや排水と給水の設備が理解できました。
境川沿いの建物(マンション・ホテル)などの説明を聞いた。
境川の東京湾側(B,C 以外)の水辺利用方法で、水辺歩道は可能性ありと思われる。
境川沿いはもったいない。理由:有効に活用されていない。
親水性の考え方に違いがあった。安全性は？(浸水・防災)
境川沿いのまちなみ景観。はじめて知ることができました。
プラスもマイナスも色々発見できて有意義だった。皆さんが熱心・かつ楽しんで参加していて良かった。
里親制度で花壇などの手入れや世話をしている方の現場を見ることができた。境川の美しさをもっと活用できる可能性があると思った。
震災以来、ボランティアによる花壇の手入れができなくなっているなど、残念な事例を多く見聞きた。
利用・活用されている河川だと思った。「再生」というより「創成」と考えた。

第3回 問3：講座感想
高洲なかよし会の活動が素晴らしいと思いました。美しい花で浦安を活気づけて欲しいです。
特にありません。
緑の里制度。
県の河川整備課のお話はよくわかりました。特に沿革や景観配慮など。県の河川整備課・市の公園緑地課の説明が分かりやすかった。今後は浦安市のアイデンティティとの調和をどうアレンジするのか関心を深めていきたい。
明治の治水、昭和の利水および平成の環境へと変化したことを知った。千葉県の中村副主査の話が良かった。
講座は全て良かった。
多自然川づくりなどは基本的な内容では？浦安の特徴を考えると、自然よりは文化・歴史では？
中学校前の花壇・水栓を引くことはできないのでしょうか？中学校施設、～OB や PTA の協力は？市施設～
浦安市の公園整備の方向について、きちんと聞きたかった。
役所と実際に行っているボランティア(植栽)のギャップ(考え)を感じた。

第3回 問4：自由
水辺を活かし、水辺を楽しむ景観づくりができればいいと思います。
川辺に囲まれた自然豊かなまち「浦安市」の特性を活かした自然と生活環境の有り様を具体的に聞きたい。
グループでの話し合いの時間が短いと思いました。水辺の利用方法について話し合いを持っても良いと思った。
良かった。
ワークショップの時間をもう少し長く取っていただきたいかった。
市・ボランティアなど、景観に対する取り組み、大変参考になりました。パネラーの方々、バランスがとれていて良かったです。
参加者同士のディスカッションの時間があると良い。

学生 問2：まちあるき感想
角地の所に公園が多くあり、休める所が多くあった。オープンな所と閉鎖的な所が多く見つけられた。やはりオープン的な所だと通りやすいが、閉鎖的では他の人をなかなか寄せ付けない。
普段は通らない場所を歩くことができて浦安市の様々な表情を知ることができました。大規模開発で画一的な姿を予想していたのですが、開発会社のカラーが出ていて様々なニーズに応えられるまちづくりになっているのが知れたからです。
「入船北エステート」戸建てで感覚ながら、集合住宅の良いところ、戸建ての良いところ、上手くとって良かったです。

学生 問3：講座感想
敷地内に電柱を入れているのが良いが、震災後にトラブルが多く発生している。埋め立ての時に電線を地中に埋めれば良いと思いました。
公開空地の存在を認知していないことです。せつかくの魅力的な共有空間も人がいないのはもったいないと思いました。角地の公園利用やポケットパーク的な場所に力を入れれば、通りにも人だまりが生まれ、街並みに活気が出るようになると思いました。
開発された年代によって、それぞれ特徴があって、昔の団地の方が町に開かれていて良かったと聞いたのが気になりました。

学生 問4：自由
国道を幕張の方に通すはずの道を途中で中止になってしまい、もったいない道路ができてしまい、他の使い道を考えて有効活用しないと、ぺんぺん草が生えてきているから対策が必要である。
学生向きの講座を開催していただき、ありがとうございます。他の都市と比較してみるとさらに良い景観づくりができる気がしました。
半日でおさまれば参加しやすいです。

第4回 問2：まちあるき感想
元町の良さを残すことは大切であるが、なかなか難しい。
境川の生かし方が一番大事だと思います。
空地が目立った。
境川の水門の静けさが心に残りました。元町のノスタルジックな雰囲気に懐かしさを感じましたが、一方道の狭さには防災上心配しました。
(午後からの参加)
元町はさびれたところという印象でしたが、ゆっくり歩いてみて、景観上素晴らしいところが多く、もっと人を呼び込める街になることができるのではと思いました。
不参加。
知識や昔の様子を知っているサポート役の人々のおかげで、まちに対して理解が深まりました。つくだに屋が集まっている通りをはじめ、釣船屋、水産卸会社、貝殻を道にまいている風景はかつて漁師町であったことを裏付けてくれる重要な財産だと思いました。

第4回 問3：講座感想
A班・B班同志の真剣な討議、有意義でした。
景観は大事だが、建物は神社などを除き、新しいものにならざるを得ないと思われます。
元町の限界を感じた。観光という視点はいかなるものでしょうか？
元町の活性化について境川を観光資源とできないか、また市の保有しているスペースを活用できないかなどの課題を理解することができました。
やはり街を歩いた上で参加した方が面白いと思いました。次回は午前中から参加します。
折角の写真をじっくり見合っ、感想を述べ合う時間が欲しいと思いました。
境川の利用について、博物館と川をつなごうとしたという話は学芸員の方ならではのお話で、興味深かったです。それに対して参加者の方の昔の川の使われ方、遊び方を聞くことができたり、もっとこう使うべき等の意見交換がその場で起こり、皆さんの川に対する期待の高さを感じました。

第4回 問4：自由
特にありません。
境川の水門に対して、私はあの雰囲気をずっと残して欲しいと思います。何でもきれいに整備するのが必ずしもいいとは思わないからです。夕日の時間帯はノスタルジーを感じる(若者目線でも好印象です)ことができる非常に良い場所だと思うので、治水機能の向上を進めながらも、現在の風景を残して欲しいと思いました。

第 5 回 問 2 : まちあるき感想
きちんと写真を撮って歩き、その写真の 1 枚 1 枚を無駄にせずに「みんなの感覚」を生かしてまちめてゆくという流れが、とても素晴らしいことだと思う。10 年たった後、今日の写真がまた役に立つと思う。
今川・美浜ともに道路整備が大幅に遅れているのが分かった。道路が美しくなれば、景観が変化すると思われる。
アパートの時代性を感じた。デザイン・色が多国籍だった。
A 班が B 班、B 班が A 班。各々の良い点・改善点を共有化でき、質疑応答をお聞きでき、自分の地域の参考とできるソースと運営要領を学べた。
美浜の美しい生垣が続く街並み。今川橋の自転車と歩行者の問題(危険性大)。歩道専用橋を作って欲しい。
今川記念館の活用。コミュニティセンターとしての立て替え。ファミリー会館など欲しい。
以前(10 年前)に比較して次第に街が美しく変化していると感じました。また、時間を経て見苦しくなっている箇所、予定の通りになっていない計画などが認識できて良かった。

第 5 回 問 3 : 講座感想
街の景観のまえに自宅前とか道路の清掃が大事であるということ。
電柱の地中化を検討する時期に来ているのではないかと美観だけでなく、防災面からも。
今川地区の開発経緯。
最後の講師のコメントの通り、今川地区のポテンシャルの大きさと可能性を知りました。自治会と NPO(景観フォーラム)と市と三者協働での協議会などで「まちづくり講義会」を作って実現されるとよい。
美浜 3 丁目と今川の違い。美浜の高齢化の実情と若手比率の回復。今川は震災後の復帰が鈍い。
問題点を深く理解されている方の意見を率直に聞くことができたことは良かったと思います。今川地区のアパート、駐車場の旧地主居住者の手を離れた土地の景観の管理不足な点。

第 5 回 問 4 : 自由
次回に出れば、水辺の回りのこともわかるそうですね。出られたら良いなと思っています。
2014 年 11 月のシンポジウムも企画されると良い。
浦安の気づかなかったことを学べた。看板制限条例を制定すべき。建築ガイダンス(境界 1m 保持)の公表をして欲しい。
景観町づくりで何をどのように考えれば良いのかを改めて考えさせられました。

第 6 回 問 2 : まちあるき感想
問題をどう解決するか、もっていき方が難しいと思いました。
佐久間先生の WS の進め方が要領よく、時間内に作業を終えられた。
皆さん、けっこう熱く議論されていてびっくりした。地元に対して熱く思っていることはとても良いことだと思いました。

第 6 回 問 3 : 講座感想
市民の意識の高さとそれを具体的に活動(行政や事業者への提言要請)につなげるこの方法、手段～総花的・思いつきレベルになりがちなので、テーマを絞ることも必要ではないかなと思います。

第 6 回 問 4 : 自由
(回答なし)

第 7 回 問 2 : 講演感想
1、大学生のゼミ～卒業論文などの事例紹介(研究発表)はまちづくりや景観を考える上で非常に参考になりました。論理的な調査・実証＋倫理・ルール性・情感など 3 拍子のバランスの良い提案と感じました。2、計画集合住宅の建て替え上の 3 要素や大規模工業団地のシャッター化への早めの景観用途指定など、示唆に富んでいます。3、生活景としての「人の気概を感じさせる街づくり」や浦安市全体の有り様など、非常に参考になった。
中町は高齢化が進んでいるとのことですが、サンコーポ浦安(12 階建て)は子供がいます。
とても聞きやすい講演でした。22 年間浦安で活躍されていた阪本先生のお話はとても実感が感じられました。特に、生活景の話。絶対評価の必要性など良かったと思いました。
災害時の参加年代のお話、子供や人の姿の不在、外→中へ、大変参考になりました。
浦安は三方を水辺に囲まれている、サイクリング・リバーサイドウォーキングの整備
浦安がふるさと
景観と人との関わりが重要であることを確認できたことが印象に残りました。
やはり「生活景」かなあ？どのような生活感をイメージするか、地域での共有化が大事だと改めて思いました。
人気(ひとけ)がある街作りの大事さを痛感。道路と建物が隣接していて緑スペースがなかったとしても、ちょっと椅子を出してお茶したり、ベランダを飾ることで街並み、活気のある街作りができるんだと感じた。
今川地区 B-07 住民意識と行政対応のアンマッチが悪い方向に表れた。B-02 のように景観に取り組んだ取り組みに対し、行政がどう評価し、今後生かすかが重要。
色々とアンケートをとって身近なテーマに取り組んでいることに感心しました。
自転車道の利用について。
世界的な鉄鋼不況が予測される現況に鑑み、浦安市の鉄鋼団地も無関係とは限らないとの考え方が参考になった。
「生活景の豊かな街へ」ということは、住んでいる人もしあわせになれることなので、今後の街づくりの方向になるだろう。
美しいだけでなく、「生活景」の大切さを言われたのは大変参考になった。
人が外から内に移動している、開放型に。
日頃気がつかない視点での示唆、考えさせられました。
生活景、人々の土地との関わり、景観として人の生活景観が重要。
第 7 回 問 3 : 景観資源発表感想
地道で緻密なまち歩きとディスカッションの積み重ねによる調査活動と発表で、良い事例と改善したい事例が多様な視点でお聞きできて、大変参考になった。
各班ともよく調査し、良いところ、改善点が指摘できている。
各グループの説明がとてもわかりやすく、親しみを感じました。B グループの境川の活用、C グループの元町の過密地域(狭あい道路)の問題が提起されていたことは印象的でした。各グループ内でいろいろ検討されたことを感じました。
神社の求心性、歴史的な建物の保存・改修、コンテナ置き場になったフラワー通りの一角の話。
知らない良いところがたくさんありました。
今川地域の改善、美浜地区の整備の良さ～皆同じ考え、表彰制度で啓発
浦安の良さ・改善
思いが伝わる発表でした。
「絶対評価の街」なかなか良い言葉ですね。
川に囲まれているだけあって、護岸に関する写真が多かった。そこが浦安の特長なんだと思います。安全面など問題があると思いますが、もっと市民が親水できるようになったらいい。
意識して景観保全に取り組んだ住民がいても、10 年・20 年と長い年月で続けるためには行政・制度の改善が必要。

浅川さんへ、下準備が大変だったと思います。ありがとうございました。10分で発表できて良かったです。
「元町」「中町」「新町」との分け方、呼称で話を進めていること。小林さんの発表と提案で「元町」に入らない当代島(?)とか、気になりました。
提案されたことが行政でどれだけ対策されるのか気になる。
町の実感が参考になった。
評価される点と改善すべき点を今少し明確に区別してお話しいただけるとありがたい。
河川管理、県と市と景観や利用について協議(コラボ)して利用と景観推進。
第7回 問4：ディスカッション感想
多様な視点と意見が聞けて参考になりました。
富岡地区の電柱埋設。
元町の住民の方が参加していないので解決が難しいと感じました。特に合意形成をどうするか、元町の気持ちが理解されていないなど。
浦安市の景観を議論するのに、人口の8割、面積でも1/2の中町・新町を考えなくて良いのだろうか。
実際に歩いたことをもとに共通の話題が話せるので、実現性のある話題となった。
有意義に共有できた。意見交換は良い。
講座の共有を通じて良い方向になるといいですね。
市民(住民)としてやれることは少ないが、地域でのルール作りや表彰制度を作っていくのが良いのでは！
皆さんよく意見が出ていました。
人が複数集まると、実に色々な観点からものが見られると思いました。
市民参加のあり方と行政との協働。
新年度のテーマ如何の話題もありましたが、フォーラムが何を指そうとしているのか、今ひとつよく分かりませんでした。その後、各自の報告を聞いて、このような意見交換自体に意義があるかと感じました。
浦安のフォーラム、具体的活動が大変参考になります。
第7回 問5：自由
新町は電柱が埋設されており景観上大変良いが、中町は路上に電柱が立っているので市としても埋設対応して欲しい。
阪本先生のメッセージにありましたように、うらやすを故郷とを感じるような気持ちで今後生活していきたいと強く思いました。お世話になりました、ありがとうございました。
今回の春から参加して、冬に風邪で休みましたが、街歩きを1.5hくらいにして、回数を増やしていただければ、多少のスケジュールの都合が悪くても参加回数がふえるかと思いました。
研究・ディスカッションにとどまらず、是非具体的なアクションを起こして下さい。期待しています。
さらに関心を持っていきたい。
難しい問題でした。
「行政がたてている計画」について、最後にお話が出たのですが、一般市民を巻き込んでゆくには、まず最初に説明しなくてはならないことだと思います。
市民・市(関係部署)・県が同時に集まって、議論することで集中した対策ができると思う。
初参加であったが、参考になった。熱意のある方が多いのが印象的であった。
フォーラムの和を広げるために、市民の関心をいかに向けてもらうか、どうしたらいいのか、初めて参加した者として課題と感じます。
市民参加の方策など、具体的取り組みが必要。(花、除草など)